

令和4年 教育委員会

第4回 定例会 議事日程

令和4年2月22日（火）

第1 報 告

【子ども総務課】

- (1) 通学路における緊急合同点検について
- (2) 令和4年度当初予算案
- (3) 令和4年第1回定例会の報告

【指導課】

- (1) 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果
- (2) いじめ、不登校、白鳥教室の状況（令和4年1月末）

第2 その他

【子ども総務課】

- (1) 教育委員会行事予定表
- (2) 広報千代田（3月5日号）

通学路における緊急合同点検について

1 目的

令和3年6月に千葉県八街市で、見通しの良い直線道路において下校中の児童の列にトラックが衝突し5名が死傷する事故の発生を受け、通学路における交通安全を一層確実に確保するため、通学路の緊急合同点検を実施する。

2 対象

区立小学校8校の通学路

3 点検内容及び実施期間


- (1) 学校から合同点検実施候補箇所の抽出・報告 <令和3年9月>
八街市の事故に鑑み、主に3つの観点による危険箇所を抽出・報告
○見通しのよい道路や幹線道路の抜け道になっている道路など車の速度が上がりやすい箇所、大型車の進入が多い箇所
○過去に事故に至らなくてもヒヤリハット事例があった箇所
○保護者、見守り活動者、地域住民等から区への改善要請があった箇所
- (2) 教育委員会等による合同点検及び対策必要箇所の抽出 <令和3年10月>
①(1)により学校から報告があった箇所について、道路管理者、警察署及び教育委員会による合同点検を実施
②学校、道路管理者及び警察署と協議し、対策必要箇所を抽出
- (3) 対策案の協議 <令和3年12月>
対策が必要な箇所について、道路管理者及び警察署からの技術的助言を得ながら対策案を協議

4 点検を踏まえた対策



- (1) 道路標示対策（白線の溶着等） 1箇所
(2) 交通安全対策（横断歩道の設置等） 2箇所

5 点検結果詳細

(1) 道路標示対策

①	位置・形状	千代田区富士見一丁目 5	
	危険理由	歩道が狭く、歩車道の一部がはっきりしない。	
	対策内容	歩車道を区別する白線表示の塗り直し	
	対策担当	道路管理者	

(2) 交通安全対策（横断歩道の設置等）

①	位置・形状	麴町二丁目 8 と 麴町二丁目 6 ・丁字路	
	危険理由	多くの児童が通行するが、信号機、横断歩道がない。	
	対策内容	横断歩道の設置	
	対策担当	交通管理者	
②	位置・形状	千代田区九段北 4 - 1	
	危険理由	児童が通行するが、横断歩道がない。	
	対策内容	横断歩道の設置	
	対策担当	交通管理者	

令和4年度 当初予算（案）の概況

1. 予算の特徴	1
2. 各会計予算の規模	4
3. 歳入予算（一般会計）	5
4. 歳出予算（一般会計）	7
5. 区民生活を支えるために重点的に取り組む施策	
(1) DXの推進や業務の効率化に向けて	11
(2) ウォークブルなまちづくりで 『つながる都心』の実現へ	13
(3) 『2050 ゼロカーボンちよだ』を めざして	15
(4) 分野別重点施策	
①命と健康を『まもる』取組み	16
②生活を『ささえる』取組み	19
③明るさや賑わいを『つくる』 取組み	22
6. 今後の財政見通し	25

希望の明日^{あす}につなぐ あげぼの予算

新型コロナウイルス感染症との闘いは、感染の拡大と縮小を繰り返しながら2年が経過しました。この間、社会全体が閉塞感に覆われ、これまで私たちが当たり前としてきた日常に大きな影響を及ぼしました。現在、新たな変異株・オミクロン株による感染の第6波が到来し、予断を許さない状況が続きますが、私たちはこうした事態に翻弄されることなく、希望に満ちた未来に向けて、生活に明るさと賑わいを取り戻し、心豊かな地域社会を築いていくために、着実に前に進んでいかなければなりません。

一方、私たちはコロナ禍を経験することによって、改めて、日常の中で見直すべき点が多くあることに気づかされました。新しい生活様式への移行、DXの推進、働き方改革など、社会システムの変革が求められており、こうした課題解決に着手することは、もはや待ったなしの状況となっています。

そこで、ウィズコロナ・アフターコロナを踏まえた社会の大転換期に対応する取り組みを積極的に進めていきます。その中でも、コロナ禍で気づかされた課題解決のための取り組みに関しては、単にコロナ禍以前の日常に戻るのではなく、希望に満ちた未来を描いていくための新たな一歩を踏み出すことが重要です。これまでの常識を変革させようとする機運が醸成されつつある今、千代田区は、コロナ禍という未曾有の危機を「チャンス」と捉え、様々なことに果敢に「チャレンジ」し、未来に向けた「チェンジ」を促すあらゆる取り組みをスタートさせていきます。

令和4年度は、「チャンス」、「チャレンジ」、「チェンジ」を強く意識しながら、様々な施策を前進させていきたいと考えていますが、同時に「多様性を認め合い、包摂する社会」をめざし、誰一人取り残すことなく、様々な立場の方々に寄り添った形で諸施策を展開していきます。

具体的な取り組みの柱は次の4つです。

- 1 区の業務全般を、業務の重要度や効率性の観点から、また、職員の働き方改革の観点から見直し、より質の高い区民サービスを安定的に提供できるようにするために、幅広い業務のデジタル化を加速させる「千代田区DX」を進めます。
- 2 地球環境の問題を見据えた「2050 ゼロカーボンちよだ」の実現に向けて、区内外の先進的技術や知見を有する主体と連携して、脱炭素化への取り組みを加速します。
- 3 「居心地の良いまちづくり」をめざして、まちの明るさと賑わいを創出するためのソフト事業と並行して、「ウォーカブルなまちづくり」に着手し、「つながる都心」の実現に向けて踏み出します。

- 4 これまでの新型コロナウイルス感染症対策を通じて培った知見と教訓を活かして、区民の「命と健康を『まもる』取組み」を徹底して進めることはもちろん、「生活を『ささえる』取組み」、「明るさや賑わいを『つくる』取組み」を進めます。

令和4年度当初予算（案）は、区民の皆さまの日々の生活をしっかりと支える施策を展開しながら、希望に満ちた未来を切り拓いていくため、まさに夜明けを迎えようとしている今を捉えた「希望の明日につなぐ あげぼの予算」として、これまで積み立ててきた基金を投じ、全会計では817億17百万円、うち一般会計は691億77百万円を計上し、ともに過去最大規模となりました。

本区は、未曾有の危機といわれる状況下にあっても、そして区民の皆さまの明るい未来を拓き、持続可能な社会の発展を実現させるために、力強い区政運営を行い、令和4年度も、さらに前進していきます。

千代田区長 樋口高顕

2

各会計予算の規模

- 令和4年度の全会計合計の予算規模は、817億17百万円、前年度対比52億44百万円、6.9%の増となり、全会計合計の当初予算規模としては、過去最大となりました。
- 一般会計は、691億77百万円、前年度対比52億26百万円、8.2%の増となり、一般会計の当初予算規模としては、過去最大となりました。なお、区民一人あたりの予算額は103万2千円(※)となりました。
- 国民健康保険事業会計は、58億14百万円、前年度対比△17百万円、△0.3%の減となりました。
- 介護保険特別会計は、47億47百万円、前年度対比△46百万円、△1.0%の減となりました。
- 後期高齢者医療特別会計は、19億79百万円、前年度対比82百万円、4.3%の増となりました。

(※) 令和4年度一般会計予算額を令和4年1月1日現在の住民基本台帳人口67,049人で除して算出した額です。(千円未満は四捨五入しています。)

各会計予算の編成状況

(単位：百万円)

会 計 名	令和4年度	令和3年度	増(△)減額	増(△)減率
一 般 会 計	69,177	63,952	5,226	8.2%
国民健康保険事業会計	5,814	5,831	△17	△0.3%
介護保険特別会計	4,747	4,793	△46	△1.0%
後期高齢者医療特別会計	1,979	1,897	82	4.3%
全 会 計 合 計	81,717	76,473	5,244	6.9%

※令和3年度予算は、同時補正予算を含む数値です。

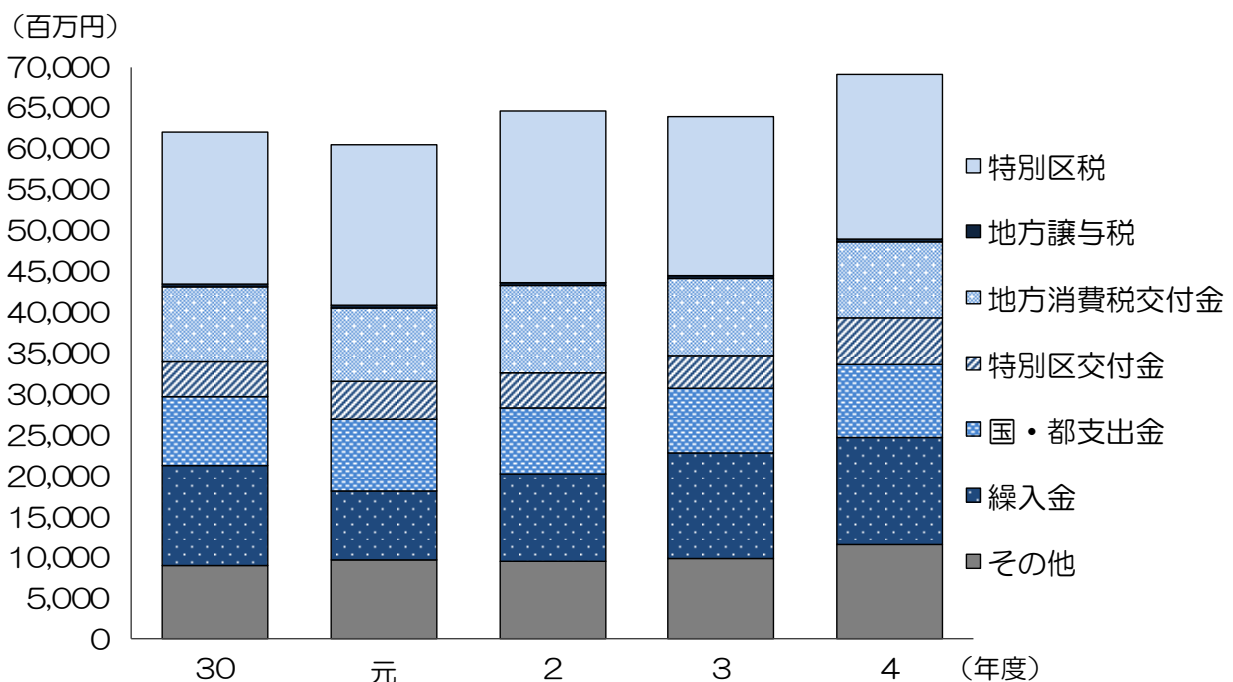
※表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合があります。

3

歳入予算（一般会計）

- 特別区税は、前年度対比7億75百万円、4.0%の増となりました。このうち特別区民税は、課税標準額の増などにより、前年度対比4億円、2.3%の増、特別区たばこ税は、売渡本数の増などにより、前年度対比3億74百万円、16.3%の増となりました。
- 地方消費税交付金は、徴収猶予の特例により本来令和2年度に交付される交付金が令和3年度に繰り越されたことの影響による減などにより、前年度対比△2億円、△2.1%の減となりました。
- 特別区交付金は、公共施設改築工事費の臨時的算定による基準財政需要額の増などにより、前年度対比17億64百万円、45.3%の増となりました。
- 使用料及び手数料は、「道路占用料」の改定に伴う13億円の増などにより、前年度対比13億75百万円、22.3%の増となりました。
- 国庫支出金は、「障害者自立支援給付費」2億34百万円、「新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金」2億14百万円、「私立保育園保育実施運営費」1億91百万円、「私立保育所等整備費補助金」1億63百万円の増などにより、前年度対比8億17百万円、17.3%の増となりました。
- 都支出金は、外濠の水質改善対策に伴う「事務処理特例交付金」2億円の増などにより、前年度対比2億23百万円、6.9%の増となりました。
- 諸収入は、「特別区競馬組合分配金」2億円の増などにより、前年度対比2億63百万円、15.2%の増となりました。

歳入予算額の推移



歳入予算一覧表

区 分 科 目	令和4年度予算額		令和3年度予算額		増(△)減額 千円	増(△)減率 %
	金 額 千円	構成比 %	金 額 千円	構成比 %		
1 特別区税	20,267,827	29.3	19,492,865	30.5	774,962	4.0
特別区民税	17,553,718	25.4	17,153,605	26.8	400,113	2.3
軽自動車税	35,415	0.1	34,663	0.1	752	2.2
特別区たばこ税	2,675,524	3.9	2,301,427	3.6	374,097	16.3
入湯税	3,170	0.0	3,170	0.0	0	0.0
2 地方譲与税	289,020	0.4	284,700	0.4	4,320	1.5
3 利子割交付金	45,000	0.1	45,000	0.1	0	0.0
4 配当割交付金	250,000	0.4	210,000	0.3	40,000	19.0
5 株式譲渡所得割交付金	300,000	0.4	250,000	0.4	50,000	20.0
6 地方消費税交付金	9,400,000	13.6	9,600,000	15.0	△200,000	△2.1
7 自動車取得税交付金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
8 環境性能割交付金	60,000	0.1	55,000	0.1	5,000	9.1
9 地方特例交付金	33,000	0.0	40,000	0.1	△7,000	△17.5
10 特別区交付金	5,654,422	8.2	3,890,749	6.1	1,763,673	45.3
11 交通安全対策特別交付金	25,000	0.0	25,000	0.0	0	0.0
12 分担金及び負担金	910,900	1.3	859,982	1.3	50,918	5.9
13 使用料及び手数料	7,528,361	10.9	6,153,235	9.6	1,375,126	22.3
14 国庫支出金	5,534,508	8.0	4,717,248	7.4	817,260	17.3
15 都支出金	3,453,197	5.0	3,229,884	5.1	223,313	6.9
16 財産収入	313,933	0.5	291,908	0.5	22,025	7.5
17 寄附金	10,505	0.0	40,504	0.1	△29,999	△74.1
18 繰入金	13,013,428	18.8	12,940,006	20.2	73,422	0.6
19 繰越金	100,000	0.1	100,000	0.2	0	0.0
20 諸収入	1,988,262	2.9	1,725,609	2.7	262,653	15.2
歳入合計	69,177,364	100.0	63,951,691	100.0	5,225,673	8.2

※令和3年度予算は、同時補正予算を含む数値です。

※入湯税は地方税法に基づき、観光の振興経費へ活用します。

※地方譲与税のうち、森林環境譲与税（19,020千円）については、森林の整備及びその促進に関する費用に活用します。

※地方消費税交付金のうち、平成26年度の消費税法改正に伴う税率改定分については、社会保障費へ活用します。

4

歳出予算（一般会計）

（1）目的別歳出

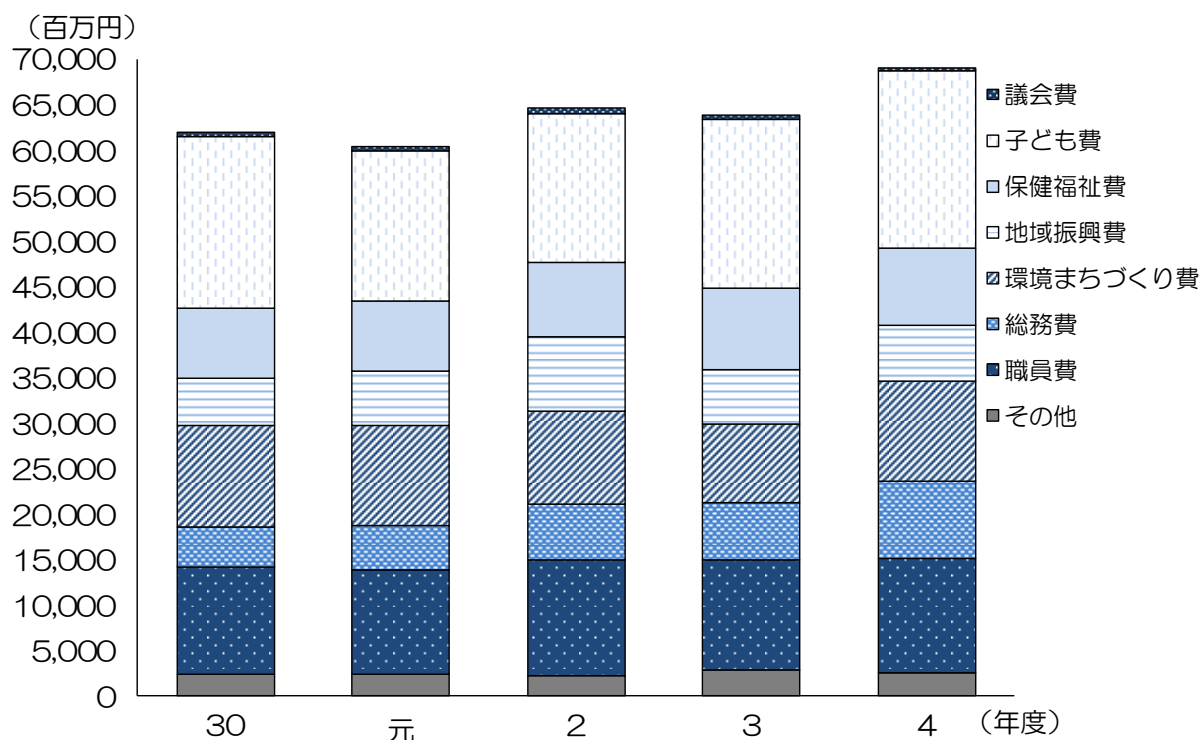
- 議会費は、議員数の減に伴う「議員報酬」△11百万円の減などにより、前年度対比△10百万円、△2.2%の減となりました。
- 子ども費は、「四番町保育園・児童館仮施設整備・運営」7億25百万円の増などにより、前年度対比9億円、4.8%の増となりました。
- 保健福祉費は、新型コロナウイルス感染症対策に伴う「PCR検査助成」完了による△5億24百万円の減などにより、前年度対比△6億33百万円、△7.0%の減となりました。
- 地域振興費は、「喫煙所設置対策」2億8百万円、「（仮称）四番町公共施設整備」の事業進捗による1億31百万円の増などにより、前年度対比3億40百万円、5.8%の増となりました。
- 環境まちづくり費は、「外濠公園総合グラウンド整備」5億11百万円、「自転車通行環境整備」2億80百万円、「電線類地中化の推進」2億64百万円、「建物の耐震化等促進事業」2億21百万円、「（仮称）四番町公共施設整備」の事業進捗による2億18百万円、「外濠の水質改善対策」2億15百万円、「橋梁の整備」1億98百万円の増などにより、前年度対比21億79百万円、25.0%の増となりました。
- 総務費は、「全庁LANの保守管理」10億18百万円、「旧和泉町ポンプ所跡地の購入」7億50百万円、「全庁LANのリプレース」4億3百万円の増などにより、前年度対比23億22百万円、36.8%の増となりました。
- 職員費は、新規採用者数や定年退職者数の増などにより、前年度対比4億12百万円、3.4%の増となりました。
- 公債費は、区債償還が進んだことに伴う残高の減により、前年度対比△39百万円、△71.8%の減となりました。なお、区債は、令和4年度で完済となります。
- 諸支出金は、「後期高齢者医療特別会計繰出金」32百万円、「介護保険特別会計繰出金」29百万円の増があるものの、「公共料金支払基金繰出金」完了による△5億円の減などにより、前年度対比△4億44百万円、△17.3%の減となりました。

歳出予算一覧表（目的別）

区 分 科 目	令和4年度予算額		令和3年度予算額		増(△)減額	増(△)減率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
1 議 会 費	450,077	0.7	460,430	0.7	△10,353	△2.2
2 子 ど も 費	19,520,940	28.2	18,621,149	29.1	899,791	4.8
3 保 健 福 祉 費	8,403,382	12.1	9,036,263	14.1	△632,881	△7.0
4 地 域 振 興 費	6,230,371	9.0	5,890,200	9.2	340,171	5.8
5 環 境 ま ち づ くり 費	10,896,909	15.8	8,717,886	13.6	2,179,023	25.0
6 総 務 費	8,632,567	12.5	6,310,636	9.9	2,321,931	36.8
7 職 員 費	12,446,855	18.0	12,035,277	18.8	411,578	3.4
8 公 債 費	15,396	0.0	54,548	0.1	△39,152	△71.8
9 諸 支 出 金	2,130,867	3.1	2,575,302	4.0	△444,435	△17.3
10 予 備 費	450,000	0.7	250,000	0.4	200,000	80.0
歳 出 合 計	69,177,364	100.0	63,951,691	100.0	5,225,673	8.2

※令和3年度予算は、同時補正予算を含む数値です。

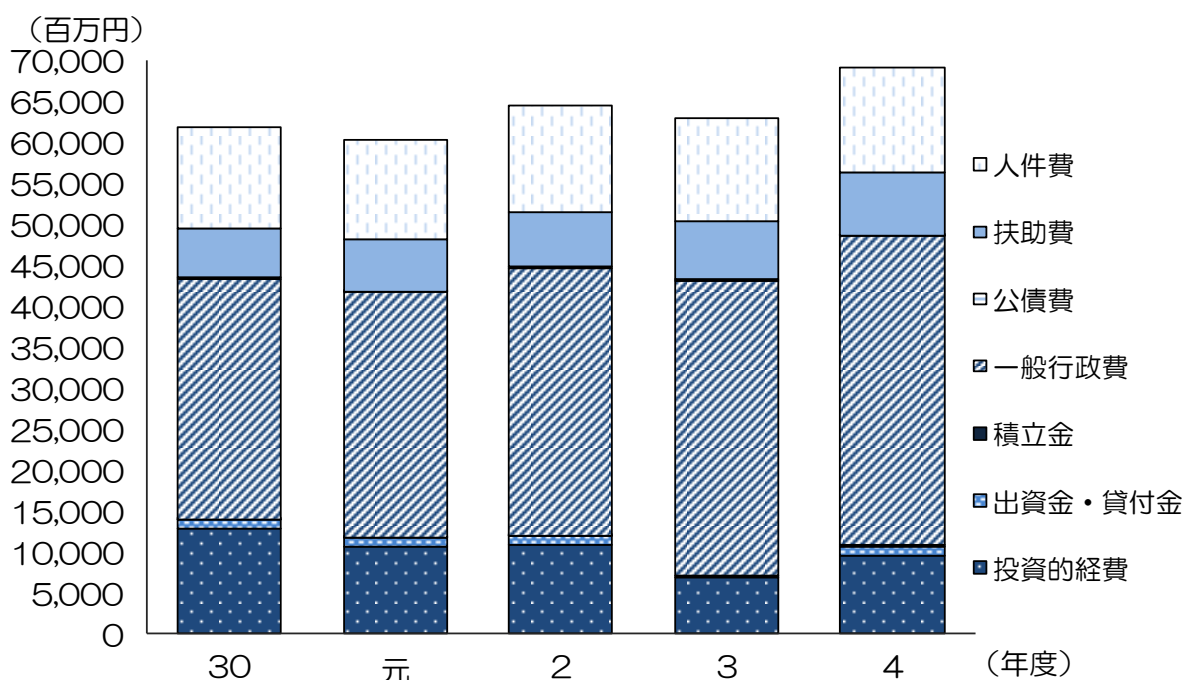
歳出予算額（目的別）の推移



(2) 性質別歳出

- 義務的経費は、前年度対比9億2百万円、4.6%の増となりました。
- そのうち人件費は、新規採用者数や定年退職者数の増などにより、前年度対比2億93百万円、2.3%の増となりました。
- 扶助費は、「児童手当」△1億10百万円の減があるものの、「障害福祉サービス」5億4百万円、「次世代育成手当」2億55百万円の増などにより、前年度対比6億48百万円、9.1%の増となりました。
- 公債費は、区債償還が進んだことに伴う残高の減により、前年度対比△39百万円、△71.8%の減となりました。なお、区債は、令和4年度で完済となります。
- 一般行政費は、前年度対比15億92百万円、4.4%の増となりました。
- そのうち物件費は、「全庁LANの保守管理」9億80百万円、「全庁LANのリプレイス」4億3百万円、「総合行政システムのリプレイス」3億16百万円、「外濠の水質改善対策」2億15百万円、「災害対策用物資・機器等の整備」1億38百万円、「図書館・図書文化館事業運営」1億30百万円の増などにより、前年度対比26億9百万円、12.5%の増となりました。
- 補助費等は、「私立保育所等整備補助」2億65百万円の増があるものの、新型コロナウイルス感染症対策に伴う「PCR検査助成」△5億10百万円、「健康危機管理対策」△4億85百万円の減などにより、前年度対比△7億88百万円、△6.7%の減となりました。
- 繰出金は、「後期高齢者医療特別会計繰出金」32百万円、「介護保険特別会計繰出金」29百万円の増があるものの、「公共料金支払基金繰出金」完了による△5億円の減などにより、前年度対比△4億47百万円、△17.8%の減となりました。
- 投資的経費は、「旧和泉町ポンプ所跡地の購入」7億50百万円、「(仮称)四番町公共施設整備」6億78百万円、「外濠公園総合グラウンド整備」5億8百万円、「四番町保育園・児童館仮施設整備・運営」4億28百万円の増などにより、前年度対比26億18百万円、37.4%の増となりました。

歳出予算額（性質別）の推移



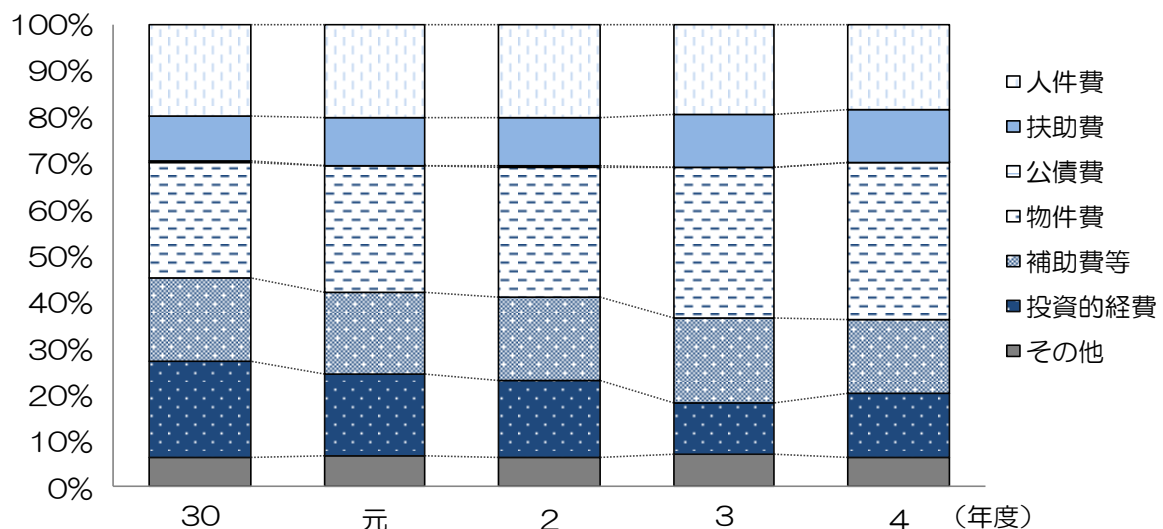
歳出予算一覧表（性質別）

区 分 科 目	令和4年度予算額		令和3年度予算額		増(△)減額	増(△)減率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
義務的経費	20,645,124	29.8	19,742,799	30.9	902,325	4.6
人件費	12,818,992	18.5	12,526,008	19.6	292,984	2.3
扶助費	7,810,736	11.3	7,162,243	11.2	648,493	9.1
公債費	15,396	0.0	54,548	0.1	△39,152	△71.8
一般行政費	37,740,042	54.6	36,147,995	56.5	1,592,047	4.4
物件費	23,546,179	34.0	20,936,837	32.7	2,609,342	12.5
補助費等	10,921,074	15.8	11,709,216	18.3	△788,142	△6.7
繰出金	2,061,350	3.0	2,508,133	3.9	△446,783	△17.8
その他	1,211,439	1.8	993,809	1.6	217,630	21.9
積立金	69,517	0.1	67,169	0.1	2,348	3.5
貸付金	1,003,575	1.5	1,003,575	1.6	0	0.0
出資金	111,322	0.2	-	-	111,322	皆増
投資的経費	9,607,784	13.9	6,990,153	10.9	2,617,631	37.4
歳出合計	69,177,364	100.0	63,951,691	100.0	5,225,673	8.2

※令和3年度予算は、同時補正予算を含む数値です。

※「その他」は、維持補修費、予備費です。

歳出予算（性質別）構成比の推移



※「その他」は、繰出金、維持補修費、積立金、貸付金、出資金、予備費です。

(1) DXの推進や業務の効率化に向けて

DX

Digital Transformation

令和4年度予算額
17億6,826万円*

～ 区政を新しいステージへ、DXでチャレンジ～

※ 全庁LAN基盤のリプレースやオンライン手続関連の予算額

大切にしてきたサービスはそのままに、
デジタル技術で区民の多様な幸せを実現

社会のあり様や価値観、ライフスタイル、ワークスタイル等が劇的に変化し、行政サービスのデジタルシフトのニーズが高まっています。

また、日本全体の人口減少や少子高齢化による労働力不足を見据え、生産性をより一層向上していく必要性があり、改めてサービスや業務の進め方を見直す時期を迎えています。

この転換期をチャンスと捉え、DX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進し、区民の多様な幸せの実現をめざします。

CONCEPT

だれもが幸せな社会に

～ DXを進める上で大切な視点～



区民が選択できる

来庁でも、オンラインでも、TPOに応じて様々な方法の中から自由に選択できます。

区民一人ひとりを個でとらえるサービス

〈CRM「千代田区民・リレーションシップ・マネジメント」の実現〉

サービスごとに対象者をみるのではなく、「その区民にはどういったサービスがあるか」という考えのもと、区民一人ひとりの状況に応じた柔軟な対応を実現します。

温もりのあるサービス〈Face to Face〉

リアルでも、バーチャルでも、これまで区が大切にしてきた一人ひとりに寄り添ったサービスを引き続き大切にします。

デジタルワークフローの実現

デジタルを基点とした業務の進め方に変革します。

ACTION

～ 区民サービス向上の取組み ～

いつでも、どこでも、だれもが
自分にあった方法を選択して、サービスを受けることができるように



あなたの手元に区役所が！？ 区と区民の結節点をオンライン上に構築

- オンライン申請・決済、予約、ビデオ通話、メッセージのやり取り、申請履歴の確認といった様々な機能を集約したポータルサイトを構築
- T P O に応じて様々な方法から都合の良い手段を自由に選択可能に

来庁時はスマートにご案内

- 窓口でキャッシュレス決済が可能
- 何度も書かせない ワンスオンリーなスマート窓口を実現



行政手続のオンライン化やだれもがデジタル化のよろこびを受けられる取組みをはじめ、様々な分野でデジタル技術を基点とした取組みを実施していきます。

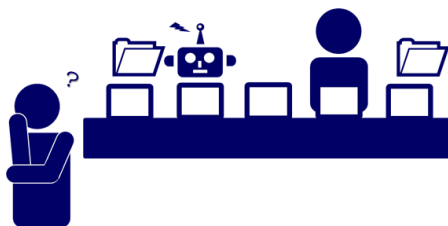
ACTION

～ 職員の生産性向上の取組み ～

新たな業務基盤の構築にいち早く着手！
働く環境、働き方も新しいステージへ！

|| 場所にとらわれない働き方の実現

スピーディーな業務遂行による生産性向上と職員の多様な働き方を実現するため、全庁 L A N 基盤等の一新とペーパーレス化に取り組むとともに、職員の活動に応じたスペースを適切に配置することで生産性の高い新しい区役所をめざします。



|| 行政事務の効率化による生産性の向上

区民に寄り添う時間を増やすため、単純作業など高い定量効果が見込める業務は抜本的な B P R（業務改善）を推進します。

R P A や A I を導入し、将来的なマンパワー不足に備えるとともに、付加価値の高い業務に注力できる環境を整備します。

※上記を除く D X 関連事業については、（４）分野別重点施策で紹介します。

(2) ウォーカブルなまちづくりで『つながる都心』の実現へ

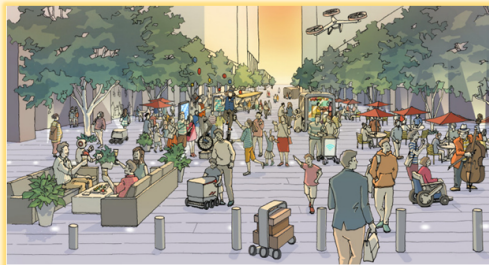
WALKABLE



人中心のまちづくり
～ まちなかをリビングに ～

令和4年度予算額
3億9,115万円

コロナ禍からの復興と都心生活の質(QOL)向上



出典：国土交通省HP

道路や公園、公開空地、グランドレベルの沿道建物用途、さらに、水辺空間など。それらを地域の個性や課題に沿ってデザインし活用して、歩きやすく居心地の良いまちづくりを推進します。

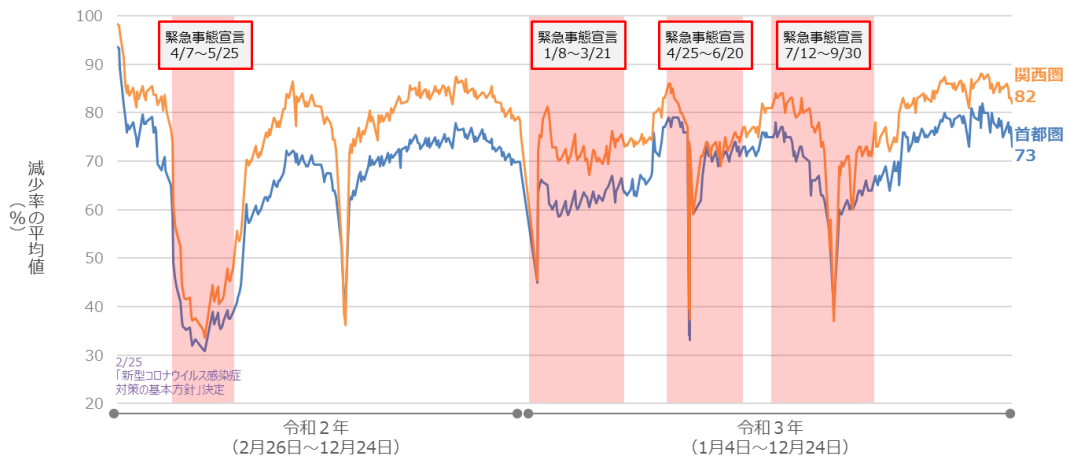
そして、日常を豊かにするとともに、イベント・祝祭を通じて地域の愛着・つながりを高めていきます。

都心から人が消えた…

“WALKABLE”でコロナ禍からの復興を

テレワーク・時差出勤呼びかけ後のピーク時間帯の駅※利用者状況推移

※ 主なターミナル駅



国土交通省 各日の駅の利用状況 (首都圏・関西圏：速報値) をもとに作成

<ウォーカブルなまちづくりに向けた取組みのイメージ>

道路を
公園に変える
(丸の内ストリートパーク)



路地空間を
まちのリビングに
(パーキングデイ神田)



お濠を身近な
親水空間に
(外濠の水質浄化)



- 歩きやすい道路の整備や河川・濠の水質浄化といった安全・安心・環境整備
- 公共空間活用の魅力あるデザインとマネジメントの担い手の育成・支援
- 公共空間と繋がる建物グランドレベルの用途誘導に向けた都市計画手法の検討
- 特色ある商業・文化の継承や、まちなかにおけるアートの展開

これら様々な取組みを横断的・戦略的に展開していきます。

※ 令和4年度予算における主な取組みについては、(4)分野別重点施策で紹介します。

(3) 『2050 ゼロカーボンちよだ』をめざして

Zero Carbon City Chiyoda

令和4年度予算額
1億9,459万円

2050 ゼロカーボンちよだをめざして

業務系省エネ加速、RE100・ZEV推進、地方連携モデル構築

さらに、**2030** ゼロカーボン区域創出へ向け
「脱炭素先行地域※」をめざす



※再生可能エネルギーの導入や省エネなどにより、電力消費に伴う二酸化炭素の排出を2030年までに実質ゼロにする地域。対象となるのは、市区町村単位のほか、自治体が指定した商店街等も含まれます。

Zero Carbon City Chiyoda

千代田区と地方都市との **ダブル官民連携モデル** 構築へ



※ 令和4年度予算における主な取組みについては、(4)分野別重点施策で紹介します。

(4) 分野別重点施策

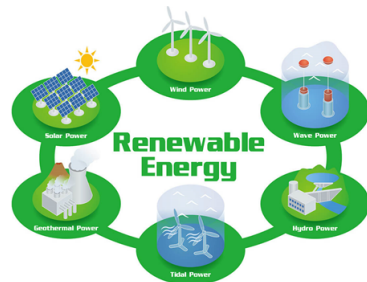
① 命と健康を『まもる』取組み

▶ 「2050 ゼロカーボンちよだ」 の実現に向けた取組み

Zero Carbon

地 球温暖化に立ち向かう！
再生エネ電力の普及促進で脱炭素化を推進！

予算額 1億 9,459万円 **拡充**



主な取組み

- **ゼロカーボンフォーラムの開催**
先進的技術や知見を有して脱炭素化に取り組む区内の企業や団体等の取組みや次世代の意見を広く発信し、区内の脱炭素化に向けた取組みを促進
- **地方連携による産地指定の再生エネ供給・再生エネ施設整備の検討**
森林整備協定を締結している高山市や婦恋村などの地方と連携し、産地指定の再生可能エネルギーを区内事業者に供給する仕組みの構築や再生エネ施設の整備を検討
- **再生可能エネルギー電力への切替促進**
家庭や区内事業所の契約電力を再生可能エネルギー電力へ切り替えるきっかけづくりとして、啓発品の支給や認証制度を開始
- **クリーンエネルギー自動車の購入・充電設備設置への助成**
クリーンエネルギー自動車や充電設備の普及促進のための助成制度を新設
- **区庁舎へのEV充電設備の設置**
区有車における電気自動車等の導入を積極的に進めるため、充電設備を区庁舎に設置

▶ 新型コロナウイルスから 区民の命を守る取組み

ワ クチンの追加接種体制を継続！

予算額 4億 8,439万円

継続

迅 速な健康観察の実施や
クラスターの発生に備えた検査体制を確保！

予算額 8,185万円

継続



主な取組み

- **新型コロナウイルスワクチン接種対策**
追加接種（3回目）の実施体制を継続し、ワクチン接種を希望する区民が円滑に接種を受けられるよう、集団接種（会場）や個別接種を実施
- **新型コロナウイルス対策**
外出ができない自宅療養者への速やかな食料提供や、保健所業務のひっ迫改善に向けて、健康観察業務やクラスター発生時のPCR検査業務のアウトソーシングを実施

▶ 妊娠・出産・子育ての不安を安心に変える取組み

不安の多い妊娠期から子育て期を支える
相談・支援体制がさらに充実!

予算額 4,309万円 



主な取組み

● オンラインを活用した妊婦面接の実施

出産・子育ての不安軽減や妊婦の健康維持・増進を図るため、全ての妊婦との面接をめざし、本庁窓口で出生届を提出した場合でも保健所の保健師等との面接をオンライン上で実施できる体制を確保

● 妊婦面接を受けた方へ「育児パッケージ」を贈呈

保健師等による妊婦面接を受けた妊婦に対し、育児に必要なものを揃えた1万円相当の「育児パッケージ」（「とうきょうママパパ応援事業」）を配付

● 産後ケア事業の「通所型」を新設

「訪問型」産後ケアの対象を、産後4か月から1年未満まで拡大するとともに、ホテル等の居室でゆったりと専門スタッフによる相談・指導を受けられる「通所型」を新たに開始し、産後の孤立化、産後うつ、児童虐待を未然に防止

▶ 安全で快適に暮らすための生活環境改善に向けた取組み

喫煙所の積極的な整備で
喫煙者と非喫煙者の共生をめざします!

予算額 5億 7,202万円 

客引き防止対策を強化!

予算額 9,597万円 



主な取組み

● 喫煙所への高機能脱臭機等整備費用を助成

公衆喫煙所周辺的环境測定（臭いや粉じん等）を行い、高機能脱臭機等の整備が必要と判断された喫煙所に対し、200万円を上限に整備費用を助成（補助率：10/10）

● 喫煙所設置100か所の早期達成


路上喫煙の苦情の多い箇所に対し、喫煙トレーラーを配備するとともに、目標である喫煙所設置数100か所を2年前倒しで達成

● 客引き行為等の防止対策

風営法に抵触するような営業形態の店舗や過激な衣装を着用した客引きの増加などを受け、民間警備員によるパトロールを強化

▶ もしもの時に備える 防災・減災の取組み

 **地**域の防災力向上を支援します！

予算額 1,184万円 

 **避**難行動要支援者の
安心・安全の確保に努めます！

予算額 1,213万円  



主な取組み

● 防災意識の普及・啓発

災害時における避難所の運営体制を強化するため、区内に住所を有し、避難所運営協議会の委員長に推薦された方を対象に、防災士資格取得にかかる費用を全額助成

● 個別避難計画の作成

高齢者や障害者など、避難が困難な「避難行動要支援者」ごとの個別避難計画の作成に向け、ケアマネジャーなどの作成支援者と協力しながら、要介護3～5など優先度が高い方から個別避難計画を作成

● 福祉避難所の対応力強化

心身の状況から、災害発生時に一般の避難所での生活が困難な方向けの福祉避難所について、図上訓練や実動訓練の実施及び運営マニュアルを作成

② 生活を『ささえる』取組み

▶ 子育てにかかる 経済的負担を軽減する取組み

区独自の「次世代育成手当」で
子育て世帯を所得に関わらず支援！
予算額 3億 6,277万円 **拡充**

生活困窮世帯等の子どもの学習を支援！
予算額 4,824万円 **拡充**



主な取組み

● 次世代育成手当の支給

令和4年6月以降、国の児童手当の改正により児童手当の支給対象外となる世帯に対して、国に代わり、所得制限のない区独自の「次世代育成手当」月額5,000円を支給
児童手当や区独自の誕生準備手当（45,000円）と合わせて、妊娠期から始まる全ての子育て世帯を力強く支援

● 生活困窮世帯等の子どもの学習場所・居場所の増設

生活困窮世帯等の子どもの学習支援（学校の勉強、宿題、復習等）と居心地の良い場所の提供体制をより充実させるため、会場の少ない神田地域に新たな会場を開設

▶ 早期の発見・療育指導につなげる 子どもの発達支援に関する取組み

子ども発達センター「さくらキッズ」や
関係機関の支援体制を強化！

障害児通所支援サービスや
専門療育機関等利用費用の負担を軽減！

予算額 1億 9,785万円 **拡充**



主な取組み

● 「さくらキッズ」への看護師配置とペアレントメンターの活用

「さくらキッズ」に新たに看護師を配置し、医療的サポートが必要な場合も安心して利用できるよう、支援体制を強化
また、発達に課題のある児童等の子育て経験がある「ペアレントメンター」を活用した個別相談や懇談会等を実施し、保護者支援の充実を推進

● 教職員の指導力向上と関係機関の連携強化

発達支援に関する専門研修等の機会を充実させ、教員や職員の指導力向上を促進
また、学校・園、保健所、「さくらキッズ」等の関係機関の連携を強化し、一人ひとりの子どもを包括的に支援

● 専門療育機関や障害児通所給付にかかる利用者負担の軽減

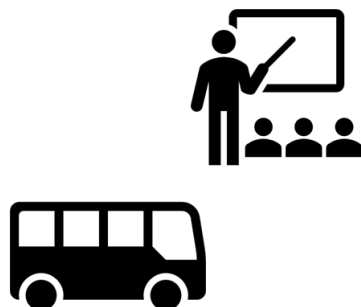
障害や発達に課題のある児童が専門の療育機関等で相談、検査及び療育指導等を受けた場合の助成対象を0歳児及び1歳児にまで拡大し、早期の療育指導を支援
また、児童福祉法に基づく障害児通所支援サービスの利用者負担について、幼児教育・保育無償化対象外の0歳児から2歳児についても区が独自に全額補助し、保護者負担を軽減

▶ 障害のある子どもの 学校・地域生活を支える取組み

特別支援学級を麴町地区に新設！

通学支援は登校時に加え下校時にも実施！

予算額 8,342万円 **拡充**



主な取組み

● 特別支援学級の新設

知的な発達に遅れのある児童を対象とした特別支援学級を千代田小学校に加えて富士見小学校にも新設
多様なニーズに対応した指導・支援の充実により、インクルーシブ教育を推進

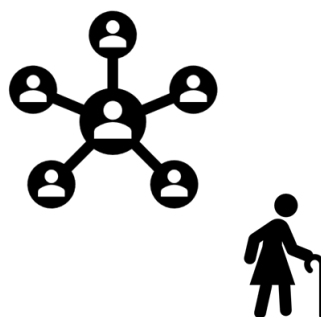
● 特別支援学級の通学支援の充実

千代田小学校及び富士見小学校への通学支援（添乗員付きの車両を運行）を、登校時だけでなく下校時にも実施することで、保護者負担をさらに軽減

▶ 安心して地域生活を続けるための 高齢者の支援に関する取組み

相談窓口の増設や多様な媒体を活用し、
孤立しがちな高齢者の見守り体制を強化！

予算額 7,204万円 **拡充**



主な取組み

● 高齢者の見守り相談窓口の増設

介護サービス利用のないひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯を対象とした見守り相談窓口を、神田地域に続いて麴町地域の高齢者あんしんセンターでも実施することで、孤立しがちな高齢者の生活実態の把握と関係機関との連携による見守り体制を構築

● お薬手帳を活用した見守り

「お薬手帳を活用した見守りシール」を配付し、医療機関や介護事業所等の関係者と連携した高齢者の見守りや緊急時の支援体制を強化

● 区内企業・大学と連携した、地域における認知症サポート

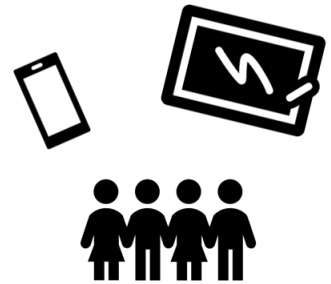
認知症の方を含む高齢者にやさしいまちづくりの実現に向けた社会機運醸成に向け、認知症の正しい理解を持ち、認知症高齢者等を支える取組みを積極的に実施している企業や大学を「千代田区認知症サポート企業・大学」として登録

▶ デジタル技術の活用で 保育園業務を効率化する取組み




 **専用システム導入で園内業務を支援！
保育園利用に係る保護者の利便性が向上！**

予算額 1,264万円

新規



主な取組み

- **園児の体調等をデータベース化** 
園児の健康状態をデータベース化し、園内の職員間で迅速に情報共有することで、よりきめ細かな対応が可能に
- **保護者との情報共有を円滑化** 
専用システムを活用することで、連絡帳のやり取りや緊急連絡などの情報共有が迅速化し、連絡の正確性が向上
- **保育園の複雑な事務作業をデジタル化** 
日誌や指導案の作成、登降園時間の登録管理、延長保育料の管理等をデジタル化することで、園内の事務作業を効率化し、保育士の業務負担を軽減

③ 明るさや賑わいを『つくる』取組み

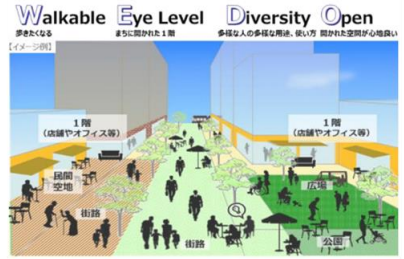
▶ 多様なつながりが生み出す
豊かで活力あるまちづくり

ウォーカブルなまちづくりで
「つながる都心」の実現へ！

予算額 3億 9,115万円

新規

拡充



出典：国土交通省HP

主な取組み

- **プレイスメイキング等の実証実験の実施**
「(仮称) ウォーカブルまちづくり戦略」に基づき、都市の中に居心地の良い場所、楽しく過ごせる場所(プレイス)を作る「プレイスメイキング」等の実証実験を実施
- **エリアマネジメント推進ガイドラインの検討**
地域が地域の価値を向上させる活動にチャレンジできるように、公共空間等の活用方法やエリアマネジメント手法に関するガイドラインを策定
- **川沿いのまちづくりガイドラインの検討**
都心における貴重な水辺空間である神田川や日本橋川等のポテンシャルを活かすためのガイドラインを策定
- **歩道のセミフラット化推進**
無電柱化、バリアフリー化、歩道設置・拡幅などの道路整備が完了している路線のうち、セミフラット化されていない歩道について、波打ちや段差のない歩きやすい歩行空間を確保するため、調査を実施
- **千鳥ヶ淵緑道の維持管理改善**
一年を通じて散策や憩いの場として、眺望や美しいみどりを楽しみながら安心して歩けるよう、千鳥ヶ淵緑道の維持管理方法を見直し、計画的・一体的管理を実施

▶ 千代田区の特徴を活かした
地域活性化に向けた取組み

地域特性を活かして産業の活性化を促進！

予算額 3,000万円

新規

だれもが楽しめるスポーツ体験を！

予算額 735万円

拡充

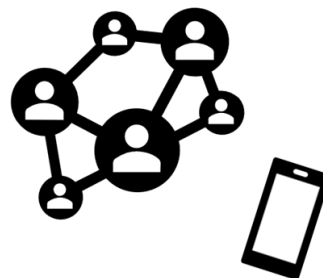


主な取組み

- **新たな産業の振興**
区内の特性を活かした新しい産業の振興とブランド力の向上について検討
- **イノベーション創出の促進**
千代田区にふさわしい新しい産業の振興とブランド力の向上を図るための調査・検討を実施。また、スタートアップと呼ばれる革新的なビジネスに取り組む事業者と区内の大学・大企業等との交流によるイノベーション創出を検討
- **障害者スポーツ・eスポーツ体験**
障害者スポーツ体験イベントにおいてeスポーツの種目を追加し、スポーツの普及啓発を推進

▶ 地域コミュニティの 活性化を促進する取組み

ハードとソフトの両面から
デジタルツールの活用を支援し、
地域コミュニティの活性化を促進！



予算額 5,092万円

拡充

主な取組み

● コミュニケーションツールの体験講習会やツール活用の支援体制を整備 DX

新型コロナウイルス感染拡大により、対面でのコミュニケーションの機会が減る中、地域コミュニティの活性化を図るため、区内でコミュニティ活動を行っている方を対象に、コミュニケーションツールの体験講習会を開催
ツールの活用にあたっては、臨時ヘルプデスクの設置とともに、訪問支援や個別相談などのアフターフォロー体制も併せて整備

● ICT機器活用環境の整備費用を助成 DX

コミュニティ活動を行っている方が、新たにスマートフォンやパソコン等の端末、Wi-Fi機器等のICT機器の活用環境を整備する費用について、ICT機器活用計画書の策定を前提に、50万円を上限に令和5年度までの時限で助成（補助率：10/10）

6

今後の財政見通し

以下の前提条件のもと、今後の財政見通しを作成しました。

全般的事項

- 1 一般会計で行う全事業を対象に、財源と併せて推計しました。
- 2 経常歳出等のシーリングは、行っていません。
- 3 人口の増加による歳入・歳出への影響を見込んでいます。
- 4 令和4年度予算の数値を基礎として、以下の要因を見込んでいます。

歳入

- 1 **特別区税**
特別区民税、特別区たばこ税、軽自動車税、入湯税の合計です。特別区民税は、人口の増に伴う納税義務者数の増を見込んでいます。特別区たばこ税は、たばこ売渡本数の減を見込んでいます。
- 2 **地方消費税交付金**
暦日要因による影響を見込んでいます。
- 3 **基金繰入金**
様々な目的のために区で設置している各種基金の取崩しです。
歳出の増減に伴い、財源として繰り入れる基金繰入の増減を見込んでいます。
- 4 **その他の一般財源**
基金利子については、その利率を固定（0.04%）で見込んでいます。
- 5 **国・都支出金、その他の特定財源**
道路占用料の改定による増や歳出の増減に伴う国・都支出金の増減等を見込んでいます。

歳出

- 1 **義務的経費**
法令等で支出が義務付けられており、任意に削減できない経費で、人件費、扶助費（生活保護費など、社会保障制度の一環として、各種法令等に基づき行う給付に要する経費）、公債費（区の借金の返済に要する経費）の合計です。
人件費は、職員数の増による職員給与費の増や定年退職者数の増減による退職手当の増減等を見込んでいます。扶助費は、人口の増による給付の増を見込んでいます。公債費は、既発債の償還を見込んでいます。
- 2 **投資的経費**
学校、区民施設や道路・橋梁の整備等に係る経費です。施設整備の進捗や計画的な施設保全経費等を見込んでいます。
- 3 **一般的な事業費**
上記1、2以外の全ての歳出で、施設の運営に係る委託料、民間の保育施設や高齢者施設などへの補助、国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療保険の区負担分等の合計です。

区債残高（年度末）

区債の新規発行をせずに既発債を償還した結果、各年度末に見込まれる区債残高です。

基金残高（年度末）

各年度の基金繰入や運用利子積立の結果、各年度末に見込まれる基金残高です。

令和4年度～令和13年度の財政見通し（一般会計ベース）

（単位：百万円）

区 分	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9～13年度	合計
歳入（A）	69,177	68,338	63,993	62,367	67,732	309,050	640,657
一般財源	40,583	36,844	37,131	37,179	37,155	196,781	385,673
特別区税	20,268	20,533	20,802	20,898	21,172	108,646	212,319
地方消費税交付金	9,400	9,500	8,700	9,500	10,300	46,700	94,100
特別区交付金	5,654	5,198	6,012	5,164	4,066	21,872	47,966
基金繰入金	3,650	0	0	0	0	11,478	15,128
財政調整基金	3,650	0	0	0	0	11,478	15,128
その他の一般財源	1,611	1,613	1,617	1,617	1,617	8,085	16,160
特定財源	28,593	31,494	26,862	25,188	30,577	112,269	254,983
国・都支出金	8,988	8,205	7,929	8,008	8,122	39,522	80,774
基金繰入金	9,139	12,523	8,157	5,662	10,905	14,231	60,617
特定目的基金	9,139	12,523	8,157	5,662	10,905	14,231	60,617
その他の特定財源	10,468	10,766	10,776	11,518	11,550	58,516	113,594
歳出（B）	69,177	68,338	63,993	62,367	67,732	309,050	640,657
義務的経費	20,645	20,319	21,148	20,968	21,695	110,516	215,291
人件費	12,819	12,256	12,951	12,585	13,173	65,659	129,443
職員給与費	9,602	9,723	9,894	10,046	10,134	52,167	101,566
退職手当	871	175	698	181	680	1,699	4,304
その他の人件費	2,345	2,358	2,359	2,358	2,359	11,793	23,572
扶助費	7,811	8,063	8,197	8,383	8,522	44,857	85,833
公債費	15	0	0	0	0	0	15
投資的経費	9,608	12,287	8,029	6,685	11,687	27,000	75,296
一般的な事業費	38,924	35,732	34,816	34,714	34,350	171,534	350,070
差引収支（A）-（B）	0	0	0	0	0	0	0
区債残高（年度末）	0	0	0	0	0	0	
基金残高（年度末）	94,222	81,743	73,622	67,992	57,117	31,509	
財政調整基金	33,454	33,469	33,482	33,495	33,508	22,095	
特定目的基金	60,768	48,274	40,140	34,497	23,609	9,414	
基金残高（対4年度末増減）	0	△ 12,479	△ 20,600	△ 26,230	△ 37,105	△ 62,713	

POINT 今後も健全な財政運営をめざします

- 区の平成12年度決算における経常収支比率は88.5%、人件費比率は34.7%でした。そこで区では、平成13年度末に「千代田区行財政改革に関する基本条例」を制定し、経常収支比率85%程度、人件費比率25%程度の財政指標を定め、行財政効率化を推進してきました。その結果、令和2年度決算における経常収支比率は80.8%、人件費比率は15.0%となっています。さらに、道路占用料の改定などの歳入確保や事務事業の見直し・再構築などにも取り組み、持続可能な財政運営を図ってきました。
- 今回の財政見通しでは、基金は、今後10年間で子育てや高齢者施策、施設整備等に757億円を活用し、令和13年度末残高は315億円となる見込みです。
- また、区では平成12年度以降、新たに区債（借金）を発行しておらず、令和4年度で償還完了（完済）となり、将来世代に負担を残さない財政運営を行っています。
- 引き続き、歳入確保や事務事業の見直し・再構築を行うとともに、様々な行政需要に対し、基金を有効に活用しながら、「千代田区行財政改革に関する基本条例」で定めた財政指標を堅持し、健全な財政運営を行っていきます。

令和4年度～令和13年度の財政見通しにおける基金充当一覧

(単位：百万円)

	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9～13年度	合計
基金繰入金合計	12,789	12,523	8,157	5,662	10,905	25,709	75,745
財政調整基金繰入金	3,650	0	0	0	0	11,478	15,128
旧和泉町ポンプ所跡地の購入	750	0	0	0	0	0	750
財源不足対応分	2,900	0	0	0	0	11,478	14,378
コミュニティ活性化基金繰入金	102	102	102	102	102	510	1,020
商工関係団体等支援事業	90	90	90	90	90	450	900
地域コミュニティ活性化事業	12	12	12	12	12	60	120
社会資本等整備基金繰入金	6,568	10,316	5,972	3,385	8,548	6,090	40,879
区有施設整備・都市基盤整備等	6,568	10,316	5,972	3,385	8,548	6,090	40,879
地域福祉支援基金繰入金	5	5	5	5	5	25	50
社会福祉協議会支援	5	5	5	5	5	25	50
災害対策基金繰入金	274	274	274	274	274	1,370	2,740
備蓄物資・機器等の整備	274	274	274	274	274	1,370	2,740
高齢者福祉基金繰入金	394	398	402	410	414	1,281	3,299
運営費補助等	394	398	402	410	414	1,281	3,299
環境対策基金繰入金	233	186	186	186	186	558	1,535
各種助成制度等	233	186	186	186	186	558	1,535
子ども・子育て支援事業基金繰入金	1,562	255	255	256	256	321	2,905
施設整備補助	295	19	19	20	20	63	436
運営費補助等	1,267	236	236	236	236	258	2,469
新規・拡充事業相当分	0	987	961	1,044	1,120	4,076	8,188
高齢者福祉基金、環境対策基金、子ども・子育て支援事業基金	0	987	961	1,044	1,120	4,076	8,188

各事業の見通し

事業の継続性を図り、財政の「見える化」をさらに進めるため、新規・拡充・主要事業の各事業別の見通しを作成しました。

■子ども部

(単位：百万円)

ちよだみらいプロジェクトの施策の目標	令和4年度 予算額	令和5年度 見込額	令和6年度 見込額	見込額の考え方
事業名				
保護者の多様なライフスタイルに応じた子育てができる環境を整えます				
私立保育所等整備補助（私立保育所）	708	0	0	令和5年度に1園の開設を見込んでいます
私立保育所等運営補助（認可保育所）	3,859	4,047	4,080	私立認可保育所数の増加を見込んでいます
私立保育所等運営補助（認定こども園）	404	404	404	引き続き、認定こども園への運営補助を実施します
地域型保育事業運営補助（家庭的保育事業）	26	26	26	引き続き、家庭的保育事業への運営補助を実施します
地域型保育事業運営補助（小規模保育事業）	54	54	54	引き続き、小規模保育事業への運営補助を実施します
地域型保育事業運営補助（居宅訪問型保育事業）	257	257	257	引き続き、居宅訪問型保育事業への運営補助を実施します
地域型保育事業運営補助（事業所内保育事業）	176	176	176	引き続き、事業所内保育事業への運営補助を実施します
認証保育所等運営補助	1,163	1,163	1,163	引き続き、認証保育所等への運営補助を実施します
病児・病後児保育室運営	15	15	15	引き続き、病児・病後児保育室を運営します
保育士奨学金返済支援助成	15	23	28	引き続き、保育士奨学金返済支援助成を実施します
学童クラブ事業運営	8	8	8	引き続き、区立学童クラブの運営を実施します
いすみこどもプラザ運営補助	91	91	91	引き続き、いすみこどもプラザへの運営補助を実施します
富士見わんぱくひろば事業運営	109	109	109	引き続き、富士見わんぱくひろば事業を実施します
学校内学童クラブ	192	192	192	引き続き、学校内学童クラブへの運営補助を実施します
私立学童クラブ運営補助	562	562	562	引き続き、私立学童クラブへの運営補助を実施します
園内業務支援システム	13	20	20	令和4年度はシステム導入時期を踏まえ、7か月分の経費としています

(単位：百万円)

ちよだみらいプロジェクトの施策の目標	令和4年度 予算額	令和5年度 見込額	令和6年度 見込額	見込額の考え方
事業名				
保護者の多様なライフスタイルに応じた子育てができる環境を整えます				
四番町保育園・児童館仮施設整備・運営（代替施設の整備）	744	150	150	令和4年度は設計や改修工事等に係る経費を含んでいます
四番町児童館物品等移設	8			令和4年度完了
四番町保育園物品等移設	9			令和4年度完了
（仮称）四番町公共施設整備（工事費）	788	1,298	1,210	整備スケジュールに基づき工事を進めます（図書館・区営住宅等を含む）
（仮称）四番町公共施設整備（工事監理委託料）	20	36	35	整備スケジュールに基づき工事を進めます（図書館・区営住宅等を含む）
（仮称）四番町公共施設整備（事務費）	3	3	4	整備スケジュールに基づき工事を進めます（図書館・区営住宅等を含む）
安心して子育てができ、子どもたちがすくすくと育つ地域づくりを進めます				
次世代育成手当	363	411	411	令和4年度は児童手当の制度改正による対象者増加後の支給期間を8か月分としています
ベビーシッター利用支援事業	5	5	5	引き続き、ベビーシッター利用支援事業を実施します
子ども発達センター	100	100	100	引き続き、子ども発達センターを運営します
発達障害等の療育経費助成	5	5	5	引き続き、発達障害等の療育経費助成を実施します
障害児通所給付事業	94	94	94	引き続き、障害児通所給付事業を実施します
重症心身障害児等支援事業	41	41	41	引き続き、重症心身障害児等支援事業を実施します
はばたきプラン	20	20	20	引き続き、はばたきプランを実施します
他者を思いやり、人との関係をより良く築く力を共に育む教育を進めます				
特別支援学級通学支援	83	83	83	引き続き、特別支援学級通学支援を実施します
グローバル社会で活躍する資質・能力を育て、主体的・協働的・創造的に生きる力を身に付ける質の高い教育を進めます				
国際理解教育の推進	47	48	49	年少人口増に伴う経費の増加を見込んでいます
コーディネーショントレーニングの推進	5	5	5	引き続き、コーディネーショントレーニングを実施します
ICT学校教育システムの推進	1,100	1,313	1,156	令和5年度は、児童・生徒のタブレット更新経費のほか、九段中等教育学校のシステムリプレイス経費を含んでいます

(単位：百万円)

ちよだみらいプロジェクトの施策の目標	令和4年度 予算額	令和5年度 見込額	令和6年度 見込額	見込額の考え方
事業名				
児童・生徒が安全にのびのびと成長できる環境を整えます				
和泉小学校・いずみこども園等施設整備調査検討	9	—	—	令和4年度中に整備計画を策定し、その後基本設計に向けた準備を進めます
教育施設の整備・維持管理手法の調査検討	22	—	—	令和4年度の調査検討結果を踏まえ、令和5年度以降今後の管理運営方法への移行準備を進めます
お茶の水小学校・幼稚園仮校舎運営	180	135		引き続き、本校舎移転までの仮校舎運営を実施します
お茶の水小学校・幼稚園の整備（工事費）	1,603	5,452		令和5年度の工事完了を見込んでいます
お茶の水小学校・幼稚園の整備（工事監理委託料）	46	104		令和5年度の工事完了を見込んでいます
お茶の水小学校・幼稚園の整備（事務費）	5	5		令和5年度の工事完了を見込んでいます
お茶の水小学校・幼稚園の整備（埋蔵文化財調査）	84			令和4年度完了

■保健福祉部

(単位：百万円)

ちよだみらいプロジェクトの施策の目標	令和4年度 予算額	令和5年度 見込額	令和6年度 見込額	見込額の考え方
事業名				
みんなで助けあう減災のまちづくりを進めます				
福祉避難所の防災訓練	4	7	7	令和5年度から防災訓練の実施回数の増などを見込んでいます
個別避難計画の作成	8	8	8	引き続き、個別避難計画の作成を実施します
感染症や食中毒等を予防し、発生時には迅速な対応をする体制を整備します				
熱中症予防対策	12	12	12	引き続き、熱中症予防対策を実施します
新型コロナウイルス対策	82	—	—	新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ、感染症対策を実施します
新型コロナウイルスワクチン接種対策	484	—	—	新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ、感染症対策を実施します
一人ひとりの健康づくりを支援します				
受動喫煙防止対策	24	24	24	引き続き、受動喫煙防止対策を実施します
健康千代田21の改定	6	8		令和5年度の完了を見込んでいます
高齢者が安心して暮らせる地域づくりに向け、地域包括ケアシステムを構築・推進します				
ひとり暮らし高齢者等安心生活支援	3	0	0	令和4年度はお薬手帳を活用した「高齢者見守りシール」の配付を含んでいます
いきいきプラザ一番町管理運営（準備業務支援）	20			令和4年度完了
高齢者総合サポートセンター管理運営（遊歩道整備）	19			令和4年度完了
介護人材奨学金支援助成	2	2	2	引き続き、介護人材奨学金支援助成を実施します
よろず総合相談	62	62	62	引き続き、よろず総合相談を実施します
（仮称）神田錦町三丁目福祉施設整備の推進	48	—	—	整備スケジュールに基づき施設整備を進めます

(単位：百万円)

ちよだみらいプロジェクトの施策の目標	令和4年度 予算額	令和5年度 見込額	令和6年度 見込額	見込額の考え方
事業名				
認知症高齢者を地域で見守り、支えるしくみを強化します				
成年後見制度事務	4	4	4	引き続き、成年後見制度事務を実施します
成年後見センター事業運営助成	54	55	54	令和5年度は、中核機関設置の普及啓発に係る経費を見込んでいます
認知症支援サービス	7	6	6	令和4年度は、「千代田区認知症サポート企業・大学」の普及啓発に係る経費を含んでいます
障害があっても暮らしやすい地域をめざします				
(仮称) 神田錦町三丁目福祉施設整備の推進	48	—	—	整備スケジュールに基づき施設整備を進めます
福祉タクシー券支給	32	32	32	引き続き、福祉タクシー券支給を実施します
自動車燃料費助成	1	1	1	引き続き、自動車燃料費助成を実施します
安心して子育てができ、子どもたちがすくすくと育つ地域づくりを進めます				
出産・子育て支援	43	43	43	引き続き、出産・子育て支援を実施します
福祉サービスの質の維持・向上に努めるとともに、生活困窮者に対する生活支援を強化します				
自立相談支援	48	48	48	引き続き、生活困窮などの自立相談支援を実施します
ひきこもり対策	10	12	12	令和5年度から相談・支援業務などの拡充を見込んでいます

■ 地域振興部

(単位：百万円)

ちよだみらいプロジェクトの施策の目標	令和4年度 予算額	令和5年度 見込額	令和6年度 見込額	見込額の考え方
事業名				
清潔で、風格ある、安全・安心なまちづくりを進めます				
喫煙所設置対策	572	—	—	令和4年度の環境測定結果に基づき、必要な取組みを実施していきます
客引き行為等の防止対策	96	96	96	引き続き、客引き行為等の防止対策を実施します
中小企業や商工業の活性化を支援します				
商工融資事業（利子補給金）	139	119	114	融資額の減による利子補給金の減を見込んでいます
商工融資事業（信用保証料）	40	35	35	令和4年度は新設する資金の信用保証料を含んでいます
ちよだ新産業振興・イノベーション創出促進事業	30	—	—	令和4年度の検討を踏まえ、必要な取組みを実施していきます
区民が自主的に学習活動に取り組み、また、スポーツに親しめる環境づくりを進めます				
新スポーツセンター基本構想の策定	7	—	—	令和4年度に策定する基本構想を踏まえ、令和5、6年度に設計を行います
障害者スポーツ・eスポーツ体験	7	7	7	引き続き、障害者スポーツやeスポーツの普及啓発を進めます
豊かな歴史や文化資源、文化芸術を気軽に楽しみ、親しめる環境づくりに取り組みます				
ちよだアートスクエア基本構想の策定	5	—	—	令和4年度に策定する基本構想を踏まえ、令和5年度に改修工事に向けた現状調査、令和6年度に設計を行います
地域力の向上を支援します				
地域コミュニティ醸成支援	29	29	5	令和4、5年度はデジタルツールを活用した地域コミュニティの活性化に係る経費を含んでいます
コミュニティ活動事業助成	22	22	12	令和4、5年度はデジタルツールを活用した地域コミュニティの活性化に係る経費を含んでいます
男女共同参画社会の実現をめざします				
ジェンダー平等推進行動計画の推進	4	4	4	引き続き、ジェンダー平等推進行動計画に基づく取組みを推進します
人権侵害のない社会をめざします				
DV対策の推進	28	28	28	引き続き、DV対策を推進します

■環境まちづくり部

(単位：百万円)

ちよだみらいプロジェクトの施策の目標	令和4年度 予算額	令和5年度 見込額	令和6年度 見込額	見込額の考え方
事業名				
地域ごとのまちづくりのルールをつくります				
公共空間活用検討会	5	5	0	令和4・5年度はプラットフォームのあり方検討策定経費を含んでいます
ウォークラブルなまちづくりの検討	8	8	8	引き続き、ウォークラブルなまちづくりを推進します
エリアマネジメント推進ガイドラインの検討	4			令和4年度完了
川沿いのまちづくりガイドラインの検討	4			令和4年度完了
地区の計画等の検討	27	16	13	引き続き、地区の計画等の検討を推進します
秋葉原地域まちづくりの推進	7	—	—	まちづくりの動向を踏まえつつ、秋葉原地域のまちづくりを推進します
飯田橋・富士見地域まちづくりの推進	15	3	3	引き続き、飯田橋・富士見地域のまちづくりを推進します
神田駿河台地域まちづくりの推進	203	253	81	御茶ノ水駅聖橋口駅前広場機能整備の事業進捗を見込んでいます
神田駅周辺地域まちづくりの推進	9	3	11	引き続き、神田駅周辺地域のまちづくりを推進します
地区計画の見直しの検討	4			令和4年度完了
多様な暮らし方に対応した住まい・住環境づくりを進めます				
マンション管理の適正化の推進	11	6	6	令和5・6年度は令和4年度に開始したマンション管理計画の認定制度の経費の減を見込んでいます
だれもが移動しやすい環境の整備を進めます				
放置自転車対策	243	150	150	令和4年度は放置自転車保管場所の改修工事を含んでいます
歩道のセミフラット化	20	100	100	令和5・6年度はセミフラット化の事業進捗を見込んでいます
道路整備計画システムの構築	10	1	1	令和4年度はシステムの構築経費を含んでいます
電線類地中化の推進	929	265	590	大神宮通り、多町大通り南周辺、和泉公園周辺、二七通りの事業進捗を見込んでいます
歩道の設置・拡幅整備	337	20	—	明大通りⅡ期、五十通り、神田駅ガード下、和泉橋地域の事業進捗を見込んでいます

(単位：百万円)

ちよだみらいプロジェクトの施策の目標		令和4年度 予算額	令和5年度 見込額	令和6年度 見込額	見込額の考え方
事業名					
だれもが移動しやすい環境の整備を進めます					
橋梁の整備		1,107	2,501	2,345	お茶の水橋、後楽橋、雉子橋の事業進捗を見込んでいます
自転車通行環境整備		390	110	630	神田警察通りの事業進捗を見込んでいます
建物の耐震化を促進します					
建物の耐震化等促進事業		505	403	403	耐震診断や耐震改修等の助成経費を見込んでいます
身近な緑を増やし、うるおいのあるまちをめざします					
生物多様性の推進		15	15	16	引き続き、生物多様性の推進を実施します
外濠の水質改善対策		215	215	215	引き続き、外濠の水質改善を実施します
緑地帯及び緑道等維持		354	354	354	引き続き、緑地帯及び緑道等維持を実施します
公園・児童遊園の整備		192	—	—	令和4年度は公園・児童遊園等調査及び愛全公園工事を含んでいます
外濠公園総合グラウンド整備		523			令和4年度完了
東郷元帥記念公園の整備		285	365		令和5年度の工事完了を見込んでいます
錦華公園の整備		227	243		令和5年度の工事完了を見込んでいます
地球に優しい環境づくりを進めます					
ヒートアイランド対策・暑熱対策の推進		53	36	44	令和4年度はヒートアイランド現象調査経費等を含んでいます
地球温暖化対策の推進		63	63	63	引き続き、地球温暖化対策の推進を実施します
第4次実行計画の推進		11	3	3	令和4年度は次期実行計画の策定経費を含んでいます
資源循環型都市をめざします					
災害廃棄物処理計画の策定		6			令和4年度完了

■ 政策経営部・その他

(単位：百万円)

ちよだみらいプロジェクトの施策の目標	令和4年度 予算額	令和5年度 見込額	令和6年度 見込額	見込額の考え方
みんなで助けあう減災のまちづくりを進めます				
防災意識の普及・啓発	12	12	12	引き続き、防災意識の普及・啓発を実施します
区民の参画・協働と開かれた区政を実現します				
広報千代田	74	74	74	引き続き、広報千代田の発行・配布を実施します
パブリシティ活動	6	6	6	引き続き、パブリシティ活動を実施します
質の高い、効果的で効率的な区政運営を推進します				
文書管理業務	52	—	—	令和4年度の公文書電子化に向けた取組み状況を踏まえ、令和5年度以降、文書管理業務を実施します
公金収納代行等手数料	34	16	16	令和4年度は初期導入経費を含んでおり、令和5年度以降は運用経費のみを計上しています
情報セキュリティ対策の推進	22	22	22	引き続き、情報セキュリティ対策を推進します
デジタル化の推進に向けた調査検討	134	182	149	デジタル化の推進に向けた調査検討の事業進捗を見込んでいます
キャッシュレスの推進	13	72	11	令和5年度から全ての窓口でキャッシュレス決済導入を見込んでいます
職場環境改善・事務効率化の推進	65	73	101	職場環境改善・事務効率化の推進の事業進捗を見込んでいます
デジタルデバйд対策	11	11	11	引き続き、デジタルデバйд対策を実施します

※「総合計画の策定」は、令和4年度完了。

令和4年 第1回定例会日程(案)

R4.2.16

月 日	午 前	午 後
2月 10日 (木)	(告示日)	1:30 議運
2月 11日 (金)	建国記念の日	
2月 12日 (土)		
2月 13日 (日)		
2月 14日 (月)	(10:00景観審)	
2月 15日 (火)		
2月 16日 (水)		1:30 議運
2月 17日 (木)	(招集日) 11:30 議運	1:00 本会議
2月 18日 (金)	11:30 議運	
2月 19日 (土)		
2月 20日 (日)		
2月 21日 (月)		
2月 22日 (火)		
2月 23日 (水)	天皇誕生日	
2月 24日 (木)	11:30 議運	1:00 継続会
2月 25日 (金)	11:30 議運	1:00 継続会
2月 26日 (土)		
2月 27日 (日)		
2月 28日 (月)	10:30 常任(地文)(福祉)	
3月 1日 (火)	10:30 常任(企画)	
3月 2日 (水)	10:30 予算	予算終了後 予算(福祉 分科会)
3月 3日 (木)	10:30 予算(企画・福祉 分科会)	
3月 4日 (金)	10:30 予算(地文 分科会) (10:00都計審)(10:00帰宅困難者対応訓練)	13:30 予算(福祉 分科会)
3月 5日 (土)		
3月 6日 (日)		
3月 7日 (月)	10:30 予算(企画・地文 分科会)	
3月 8日 (火)		
3月 9日 (水)		1:30 環境まち
3月 10日 (木)		
3月 11日 (金)		1:30 議運
3月 12日 (土)		
3月 13日 (日)		
3月 14日 (月)	10:30 予算(総括)	
3月 15日 (火)	10:30 予算(総括)	予算(総括)終了後 公共施設、災害・危機、あり方
3月 16日 (水)	(事務作業日)	
3月 17日 (木)	10:30 常任(企画)(地文)	
3月 18日 (金)	10:30 常任(福祉)	
3月 19日 (土)		
3月 20日 (日)		
3月 21日 (月)	春分の日	
3月 22日 (火)	(事務作業日)	
3月 23日 (水)		1:30 議運
3月 24日 (木)	11:30 議運	1:00 継続会
3月 25日 (金)		

教育委員会資料
令和4年2月22日
子ども総務課

令和4年第一回

区議会定例会区長招集挨拶

令和4年第一回

区議会定例会区長招集挨拶

【目次】

I	新型コロナウイルス感染症対策について	1
II	基本構想の策定について	4
III	令和4年度予算（案）について	6
	●令和4年度予算案の特徴について	
	●令和4年度予算案の規模	
	●令和4年度予算案の具体的な取組み	
IV	議案	24

*本文は、口述筆記ではありませんので、表現その他若干の変更があることがあります。

令和4年第一回区議会定例会の開会にあたり、私の区政運営における所信を申し上げます。

I 新型コロナウイルス感染症対策について

はじめに、新型コロナウイルス感染症対策について申し上げます。

我が国においては、昨年末から懸念されていた新型コロナウイルス感染症の第6波が到来しました。新たな変異株・オミクロン株による感染拡大の勢いは依然として衰えることがなく、連日、全国で数万人規模の新規感染者が報告されています。東京都に2月13日までの期間で発出されておりました「まん延防止等重点措置」の適用も来月6日まで期間が延長されました。千代田区におきましても年明けから感染拡大が続き、今月に入り連日100人前後の新規感染が報告されています。都の確保病床の使用率は2月15日現在、58.8%に上っており、区の確保病床使用率も中等症病床20床のうち65%、また重症病床2床のうち1床を使用するに至っていることか

ら、予断を許さない状況が続いています。

この間、感染者への対応等の件数が激増し、保健所の業務がひっ迫しております。オミクロン株は、昨年夏の第5波のときと違い、無症状者や軽症者が多い傾向にありますが、圧倒的な感染者数の増加により、感染者や濃厚接触者に対する聴き取り調査、自宅療養者の健康観察や体調急変時の対応などに追われる日々が続きました。そのため区では、保健所以外の職場から延べ20名の職員を派遣して、業務が滞ることがないように全庁一丸となって応援体制を整えました。1月末より軽症者の健康観察を東京都の窓口、「うちさぽ東京」で対応することになり保健所業務がやや軽減したものの、中等症、重症の方が徐々に増加しており、体調急変時の対応が必要となっています。そのため、区内では、かかりつけ医による健康観察に加え、80近くの医療機関と40を超える薬局が経口薬の処方を実施しており、重症化予防の取り組みが進んでいます。

感染予防や重症化リスクの低減には、3回目のワクチン接

種が有効であると言われております。本区では希望する区民の方が一日でも早く接種できるよう、早い段階から準備を進め、2回目接種から6か月経過後に前倒しての接種をできる体制を構築しています。2月16日現在、全体では23.1%、65歳以上の高齢者の方では61.4%が接種を終了しています。

区民の命と健康を守るためには、ワクチンの早期接種が大きな鍵となりますので、医療機関と連携し、引き続き、着実な実施を進めてまいります。

また、区の仕事の中には、区民が日常生活を営むうえで一日たりとも休止することができない業務があります。現在、感染や濃厚接触、または自宅待機となった子どもの養育等により出勤できない職員や関係者が増え、業務の停滞が懸念されることから、不測の事態に備える必要があります。そのため、庁内各課に対して事業の優先順位等を定めた事業継続計画いわゆるBCPの再点検を行い、非常時であっても必要な業務を停滞させることなく維持できるよう庁内の執行体制を再確認したところでございます。

区の業務は地域住民の生活を支える基盤と言えますので、各職場の感染予防にも努め、欠かすことのできない区民サービスの提供継続に万全を期してまいります。

Ⅱ 基本構想の策定について

次に基本構想の策定について申し上げます。

コロナ禍に見舞われて以降、私たちが当たり前としてきた日常は一変しました。混迷を深めるこの時代にあっても、誰もが希望を抱き、安心して生活できるように、活力ある、明るい未来を切り拓いていかなければなりません。

そのためにも、この難局を乗り越えた先にある社会を展望し、新たな時代の基本構想を策定してまいりたいと考えております。区の将来像については、日本の政治、経済、文化の中心として発展してきた千代田区の歴史と、伝統や文化、そして多様な人々を大切にしながら、未来に向かって力強く着実に前進する姿を描いてまいります。

新しい基本構想の策定にあたりましては、庁内で慎重に議論を重ねたうえで、新しい基本構想のたたき台をお示ししてまいります。

来年度は、区を取り巻く現状を踏まえるとともに、変化の激しい社会情勢に柔軟に対応できるように、区民や学識経験者、さまざまな分野における団体関係の代表者にも参画をいただく（仮称）第4次基本構想策定懇談会を設置いたします。懇談会においては、作成した基本構想のたたき台などを材料に、活発にご議論をいただき、ご提言をいただきたいと考えております。加えて、意見公募や住民説明会など、さまざまな場面を通じて区民の方から幅広く意見をいただく機会を設け、区の将来像を共有しながら検討を進めてまいります。新たな基本構想の策定を通じて、千代田区に住み、働き、学び、集う人々が、千代田に誇りを持ち、親しみを持てるような構想をつくり上げてまいります。

また、検討内容につきましては、随時、区議会にご報告し、皆様のご意見をいただきながら、検討を進めてまいります。

区民の皆様、議員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

Ⅲ 令和4年度予算案について

●令和4年度予算案の特徴について

次に、令和4年度予算案について、概要をご説明いたします。

はじめに予算編成にあたっての基本的な考え方を申し上げます。新型コロナウイルス感染症との闘いは、感染の拡大と縮小を繰り返しながら、2年が経過いたしました。コロナ禍の2年間は、外出やイベントの自粛・制限によって、対面でのコミュニケーションの機会が失われ、多くの生きがいや賑わいの場が制約されるなど、これまで私たちがごく当たり前で過ごしてきた日常に大きな影響を及ぼしました。

こうした状況が長期化し、社会全体が閉塞感に覆われる中、昨年末から新たな変異株であるオミクロン株による第6波が

到来し、落ち着くことができない日々が続いています。

しかしながら、私たちはこうした事態に直面しても、希望に満ちた未来に向けて、区民生活に明るさと賑わいを取り戻し、心豊かな地域社会を築いていくために、着実に前へ進めていかなければなりません。

一方、これまで経験したことのないコロナとの闘いは、日常の中に見直すべき点が多々あることに気づかされ、新たな課題として認識することができました。感染防止を踏まえた新しい生活様式への移行をはじめ、これまで遅れが生じていたDXの推進、多様で柔軟な働き方をそれぞれが選択できる働き方改革など、あらゆる社会システムに対する変革が求められています。

こうした状況を受け、私たちは一日も早く、新たな社会システムを取り入れ、適応するための取組みに着手しなければなりません。これまで連綿と受け継がれてきた常識を変革することは容易なことではありませんが、コロナ禍にある今、期せずして常識を変えるという機運が社会に醸成されつつあ

る中で、変革の機会が訪れていると確信しております。

本区はこの機会を逃すことなく、コロナ禍という未曾有の危機を変革するための「チャンス」と捉え、さまざまなことへ果敢に「チャレンジ」し、未来に向けた「チェンジ」を促すあらゆる取組みをスタートいたします。特に、コロナ禍によって気づかされた課題を解決するための取組みに関しては、単にコロナ禍以前の日常に戻るのではなく、「多様性を認め合い、包摂する社会」の理念のもと、希望に満ちた未来を描いていくための新たな一歩を踏み出すための「持続可能な復興」に注力していくことが重要であると考えております。

こうした考え方のもと、令和4年度当初予算案は、区民の皆様の日々の生活をしっかりと支える施策を展開しながらも、希望に満ちた未来を切り拓いていくため、コロナ禍の長いトンネルを抜け出そうとする今を、昇る朝日に向かって動き始める「希望の明日（あす）につなぐ あけぼの予算」と名付け、職員一丸となって取り組んでいく予算案を編成いたしました。

●令和4年度予算案の規模

次に、令和4年度予算案の規模について申し上げます。

一般会計は、691億7千700万円、前年度に比べ52億2千600万円、8.2%の増となりました。また、特別会計を加えた全会計の合計は、817億1千700万円、前年度に比べ52億4千400万円、6.9%の増となっております。この予算額は、当初予算としては過去最大の規模となっております。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けて、世界経済は一様に落ち込みを見せ、実質国内総生産においては、一時、リーマンショックを超える状況にまで落ち込みました。我が国においても諸外国と同様、一時厳しい経済状況に陥り、その傾向が継続するものと判断し、本区の前年度の予算編成に際しては、例年になく厳しい歳入の見通しを計上しておりました。

一方、昨今は世界経済の持ち直しが続くことが見込まれており、我が国も感染の動向を注視しながら、社会経済活動を

継続する中で、景気が力強さを増していくことが期待されています。また、この状況を反映するように、税収も堅調な動きを見せており、コロナ禍の厳しい状況においても、比較的安定した歳入を確保することができました。

そのため、令和4年度の歳入予算については、現状を鑑みて、特別区税は前年度に比べ、約7億7千万円、4%の増を見込んでいるほか、特別区財政調整交付金についても、原資となる今年度の調整税等の状況を踏まえ、前年度に比べ、約17億6千万円、45.3%の増を見込んでおります。

歳入の見通しに明るい兆しがある一方で、感染拡大を受けた緊急事態宣言や、まん延防止等重点措置等の相次ぐ発出によって、区内の飲食店をはじめ、中小事業者に対する影響は甚大であり、区民の皆様の家計に与える影響も深刻な状況にあります。また、各種イベントの中止や縮小が相次いだことから、長引くコロナ禍は経済的な影響のみならず、精神的にも大きな負担を与えております。

令和4年度予算案は、こうした区民の皆様の負担や不安を

少しでも払拭できるように様々な施策に注力することとしました。そこで、コロナ危機という不測の事態が継続していることを踏まえ、区民の皆様の明日の生活を支えるため、財政調整基金を投じて諸施策を講じるべきであると判断し、これまで積み立ててまいりました財政調整基金から約 29 億円の繰り入れを行い、その財源を補うことといたしました。

あわせて、予算の適正配分を図るために、経常的経費について一定規模の縮減を促すことで既存の事務事業の再点検を行うとともに、事業の再構築等にも取り組んでまいりました。

こうした内部努力や歳入増によって、令和 4 年度予算案の経常収支比率は前年度に比べて 2.2 ポイント減少し、84.7% となりました。これは「千代田区行財政改革に関する基本条例」に規定している 85% 程度の財政指標から乖離はなく、安定した財政基盤が確保されたものとなっており、引き続き強固な財政基盤の維持に努めてまいります。

●令和 4 年度予算案の具体的な取組み（四つの柱）

次に、令和4年度予算案の具体的な取組みについて申し上げます。

今回の予算案については、先に述べた特徴を踏まえた上で、四つの柱を立てて、編成いたしました。

一つ目は、「千代田区DX」です。

日々著しく進展するデジタル技術は、今や私たちの生活に必要不可欠なものとなっており、特に行政におけるデジタル技術の活用は、経済の活性化を促すことや地域課題の解決のための重要な取組みとなっています。

一方、社会は新型コロナウイルス感染拡大によって大きく変化しており、接触機会を減らし利便性を向上させるための対策や区民の生命を守り地域経済を再生するための取組みなど、デジタル化を手段とした新しい生活への移行が急務となっています。

私は区長就任時より、デジタル化を手段として、区民生活をあらゆる面でより豊かに、良い方向に変化させるとともに、業務そのものやプロセス、組織文化・風土を変革することを

目的とした、DXの推進に取り組んでまいりました。

取組みにあたりましては、若手職員を中心に構成するプロジェクトチームを立ち上げ、区民サービスや働き方の改革など、先入観にとらわれることなく、自由で柔軟な発想をもって検討を重ね、その結果を本区の将来ビジョンを描いた「DX戦略」として策定し、本定例会においてお示しする予定です。

私たちは、基礎的自治体として、まずは「行政サービスのスマート化」に取り組むこととし、一部業務において、待たせない窓口のための来庁オンライン予約やキャッシュレス決済を導入し、ワンストップで書かせない窓口を実現するための実証実験や手続きのために窓口に来させない、迷わせないための区独自のポータルサイトや手続きナビゲーションの構築を進めてまいります。

また、DXを進めるにあたりましては、利用者が得る便益を第一に考え、すべてをデジタル化するのではなく、不慣れな方には、窓口等において、より丁寧な対応や紙媒体等でご

案内を併用するなど、必要に応じて、人手によるサービスを組み合わせることにより、一人ひとりのニーズにあった区民サービスを提供していくことが必要であると考えます。

いずれにいたしましても、DXの推進により、区民が、いつでも、どこでも、一人ひとりのニーズにあったサービスを選択することのできる、多様な幸せが実現できる社会をめざすとともに、事務の効率化や職場環境改善等を図ることで、私たちの職場をより働きやすいものへ変革してまいります。

二つ目は、「ウォークアブルなまちづくり」の推進です。

改定都市計画マスタープランは「つながる都心」を目指すべき将来像としています。この将来像の実現に向け、人々の交流と賑わいを創出するとともに、コロナ禍を克服し、地域に明るさを取り戻すために、「ウォークアブルなまちづくり」を進めるものであります。

千代田区は、我が国の中心として、政治、経済、教育、文化など様々な都市機能が集積し、多くの人材が交流するなかで、質の高い多様な社会サービスが受けられる唯一無二の都

市として発展してきました。しかし、新型コロナウイルスのパンデミックにより、一時、「灯（あかり）が消えたようなまち」となったことはご案内のとおりです。多くの人々が外出を控え、住まいに籠る生活を強いられ、活発な都市活動をよりどころにしていた地域経済は疲弊しました。

一方で、リモートワークの進展やネットスーパーの普及など、働き方や暮らし方が変わりました。アフターコロナは、コロナ前に戻るのではなく、ニューノーマルを前提に新たな都市生活へと進化していかなければなりません。

足掛け3年にわたるコロナ禍の中で、私たちは改めて二つの価値に気づきました。一つは、道路や公園、河川など、屋外空間の大切さです。そして、もう一つは、人と会い、喜びや感動を共有するリアルな交流の大切さです。

そこで、道路や公園、広場、水辺などを快適で居心地の良い「まちのリビング」に変え、人と人とのリアルな交流を生む「ウォーカブルなまちづくり」を進めます。

具体的な取組みとして、昨年5月には、ウォーカブル推進

都市にエントリーし、都市づくりのハードと文化・産業・観光などのソフト両面から組織横断的に検討を進めてまいりました。議会とも議論を重ねる中で、令和4年度にかけてウォーカーブルまちづくり戦略を策定してまいります。

また、令和4年度は、歩道のセミフラット化の推進や千鳥ヶ淵緑道の高度な維持管理など道路環境の改善を着実に進めるとともに、戦略に基づき、パーキングや広場など既存ストックを居心地の良い空間に変える「プレイスメイキング」の実証実験など、計画や戦略を「実行」に移す取組みを進めます。

さらに、ウォーカーブルにとって重要な要素である水辺のポテンシャルを発揮させるため、川沿いのまちづくりガイドラインを策定してまいります。

三つ目は、「2050（にせんごじゅう）ゼロカーボンちよだ」の実現に向けた取組みです。

一昨年6月、区議会は全会一致で「気候非常事態宣言」を決議されました。私もこの危機感を共有し、昨年10月地球温

暖化対策条例を改正し、11月には気候非常事態を宣言いたしました。これにより、私たちの子や孫の世代のためにも「ゼロカーボンちよだ」という困難な課題に区議会とともに取り組む決意を示したものであります。

2050年にゼロカーボンを実現するうえで、2030年までの取り組みが重要です。地域推進計画では、2013年比で42.3%削減することを目指していますが、これをさらに戦略的に進めるために、2030年までに区内でゼロカーボンを達成する地域の創出に挑戦いたします。

千代田区は、政治経済の中心地として活発な都市活動が繰り広げられており、その結果、大量のCO₂が排出されています。その約8割が区に集積する事業者の業務活動によるものであり、業務系のCO₂排出量の削減が「ゼロカーボンちよだ」実現のカギとなります。

一方で、地球温暖化や気候危機を背景に脱炭素社会実現に向けた取り組みが加速する中で、環境対策は経済成長を妨げるものではなく、成長の機会と捉えられるようになりました。

技術革新により CO₂排出量を削減し、持続可能な社会を実現させる「GX・グリーントランスフォーメーション」の考え方も浸透してまいりました。この劇的な変化（パラダイムシフト）を背景に成長が期待されるエネルギーや運輸、自動車、情報・通信、都市開発などの分野の企業群が集積していることは、千代田区の強みとも言えます。

こうした地域特性を活かし、業務地域をターゲットとして2050年に先駆け、2030年までに区内にゼロカーボン地域を出現させることを目指します。

具体的な取組みとして、大丸有地域などにおいて、徹底的な省エネやエネルギーエリアマネジメントの推進、先端技術の実装などともに、地方と連携したRE100（アールイー百）電力の導入などにより実現は十分に可能であると認識しています。

先般、これを後押しするように、環境省が2030年度までにゼロカーボンを先行して実現する「脱炭素先行地域」の選定を行うため、地方自治体に対する計画提案の募集があり、区

としても採択に向け、具体的な検討を開始いたしました。

また、令和4年度予算では、地方と連携し、環境付加価値がある産地指定の再生エネルギー由来の電力の供給促進や、地方における再エネ発電施設支援などの検討をまいります。このような取組みは、先行地域の提案としても非常に有益であると認識しています。

さらに、家庭や中小事業者に向けて、再エネ電力への切り替えについて理解促進を図るとともに、啓発品の支給や環境配慮の認証を行うことで普及を図ってまいります。

加えて、千代田区に集積するGXの知見や地方連携の取組、そして、次世代を担う学生や子どもたちのメッセージを共有し、発信するため「ゼロカーボンフォーラム」を開催いたします。

●令和4年度予算案の具体的な取組み（分野別重要施策）

最後に、四つ目については、区民生活全般に関する重点施策として、「区民の命と健康を『まもる』」、「生活を『さ

さえる』」、「明るさや賑わいを『つくる』」の三分野からなる取組みとなっております。

まず、一点目は「区民の命と健康を『まもる』取組み」です。

業務がひっ迫する保健所の体制強化をはじめ、これまで継続して行っている「新型コロナウイルス感染症対策」等に時機を逸することなく迅速かつ着実に取り組んでまいります。

また、妊娠、出産、子育ての悩みを抱える妊婦や出産後の母親に対するケアとして、保健師によるオンライン上での面接を開始し、産後うつや児童虐待の未然防止に取り組んでまいります。

さらに、生活環境の改善に向けた取組みとして、公衆喫煙所整備助成の拡充等を図り、喫煙所の設置を加速化させるほか、まちの風紀を保つために客引き行為等の防止対策として、地域の巡回パトロールを強化いたします。

次に、二点目はコロナ禍で疲弊した区民の皆様の「生活を『ささえる』取組み」です。

まず、障害や発達に課題のあるお子さんについては、それを早期に発見し、適切な療育支援にいち早くつなげていくことが極めて重要となります。このため、専門の療育機関で検査や療育等を受けた場合の助成対象を0歳児まで拡大し、早期からの療育支援を推進するとともに、児童福祉法に基づく障害児通所支援サービスの利用者負担についても区の補助対象を拡大し、保護者の負担軽減を図っていくほか、「さくらキッズ」に看護師を新たに配置し、医療的サポートが必要な場合にも安心して利用できるよう体制を強化いたします。

また、児童・生徒等それぞれの多様性を尊重し、児童・生徒等の状態に応じた指導・支援を受けることで、有意義な学校生活を送ることができるように、学校・園に、心理や言語の専門知識を有する人材や、特別支援学校等での指導経験を有する人材を適切に派遣・配置し、児童・生徒等の状態に応じた指導・支援を実施していくための体制の充実を図ります。

さらに、富士見小学校に、知的障害特別支援学級を新設し、多様なニーズに対応した指導・支援の充実を推進するとともに

に、小学校の知的障害特別支援学級に在籍する児童の通学に際し、添乗員付きの車両を運行して、従来までの登校支援に加え、小学校から自宅付近までの下校支援も行うことで、児童本人と保護者の負担を軽減いたします。

次に、高齢者の支援に関しては、高齢者が地域の中で孤立することなく、安心して日々の暮らしを送れるよう、これまで神田地区のみであった高齢者の見守り相談窓口を麴町地区にも増設いたします。

また、高齢者がお薬手帳を使用する機会を利用して、医療機関や介護事業所等の関係者が気兼ねなく見守り活動にあたることのできる仕組みをスタートさせるほか、認知症高齢者等の支援に積極的な区内の企業や大学の登録制度を創設する等、地域における認知症サポート体制を強化し、隙間のない見守り体制を構築いたします。

三点目は、「明るさや賑わいを『つくる』取組み」です。

コロナ禍によってダメージを受けた地域経済を活性化させるため、日本の政治・経済・文化の中心地として発展してき

た本区の特性を活かし、千代田区にふさわしい新しい産業の振興とブランド力の向上を図っていくための検討を開始いたします。特に、スタートアップと称される革新的なビジネスに取り組む事業者の支援として、区の資源である大学や企業等との交流の機会をつくり、地域内でのイノベーション創出を促すことで、区内産業を活性化させる方策を検討いたします。

また、コロナ禍によって衰退が懸念される地域コミュニティについて、デジタルツールを活用した新たなコミュニケーションが進んでいる一方で、年齢や階層等による格差、いわゆるデジタルデバイドも課題となっています。この格差を解消するため、区内でコミュニティ活動を行っている方々を対象にしたスマートフォンアプリの体験講習会や個別相談などのアフターフォローを実施するとともに、ICT機器の活用環境を整備する費用を助成するなど、デジタルツールを活用した地域コミュニティ活性化の促進に取り組みます。

令和4年度予算案につきまして、ただいま、ご説明いたし

ましたが、未曾有の危機といわれる状況にあっても、区民の皆様
の明るい未来を拓き、持続可能な社会を実現するため、
私は、区民の皆様や議員の皆様のご理解とご協力をいただき
ながら、力強い区政運営に取り組み、令和4年度もさらに前
進を期してまいります。

IV 議案

最後に、今回提案いたしました諸議案についてでございます。

まず、予算案件といたしまして、

- 令和3年度千代田区一般会計補正予算第9号の、1件、
- 令和4年度千代田区各会計予算が4件で、計5件であります。

次に、条例関係であります、

- 新たに条例を制定するもの、1件、
- 条例の一部を改正するもの、11件の、計12件で

あります。

このほか、規約の一部を変更するもの、1件で、

●今回の付議案件は、合わせて18件であります。

何とぞ、慎重なご審議の上、原案どおりご議決賜りますようお願いを申し上げます。

以上をもちまして、令和4年第一回区議会定例会の開会の挨拶といたします。

ありがとうございました。

令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

1 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

1964年より実施（現行の形式は2008年度より）。全国の小学校5年生、中学校2年生全員を対象として、実施している。

2 調査項目(実技)

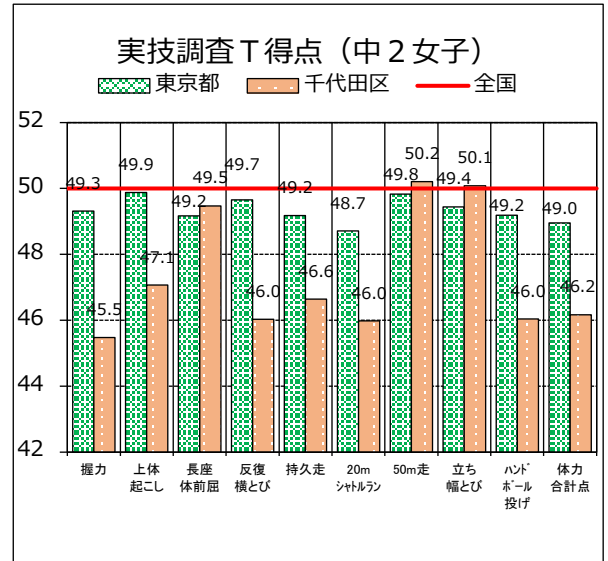
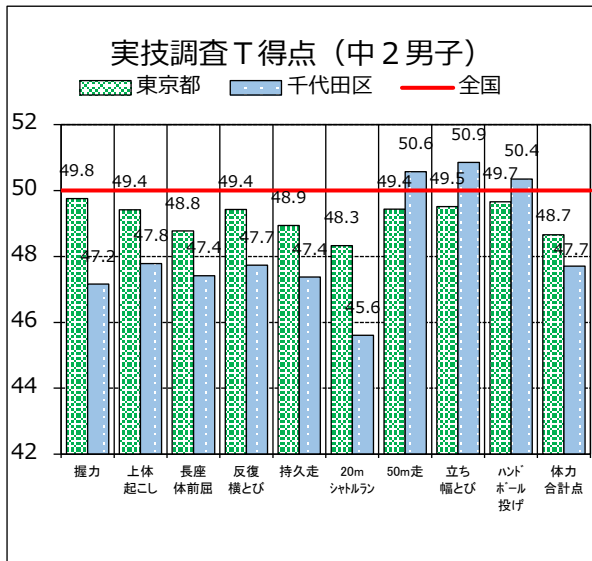
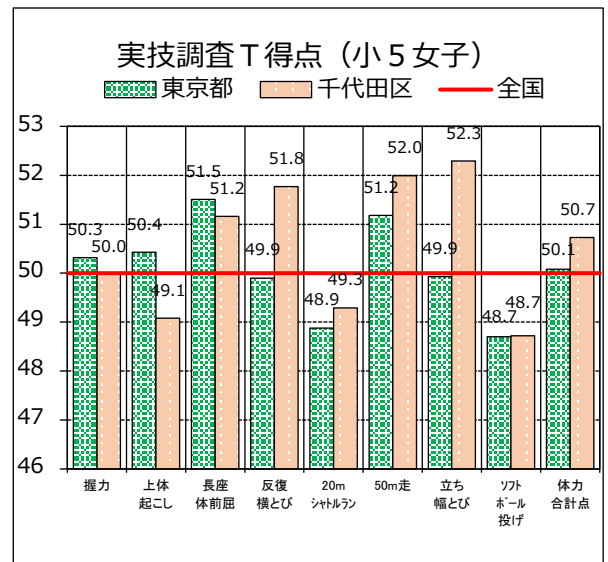
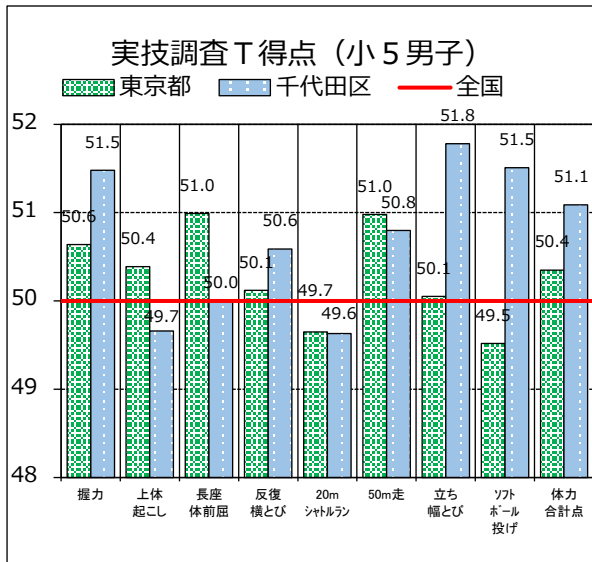
小学校：握力（筋力）、上体起こし（筋力・筋持久力）、長座体前屈（柔軟性）、反復横跳び（敏捷性）、20mシャトルラン（全身持久力）、50m走（走力）、立ち幅跳び（瞬発力）、ソフトボール投げ（投力・巧緻性） 計8種目

中学校：握力（筋力）、上体起こし（筋力・筋持久力）、長座体前屈（柔軟性）、反復横跳び（敏捷性）、20mシャトルラン（全身持久力）【持久走と選択も可】、50m走（走力）、立ち幅跳び（瞬発力）、ハンドボール投げ（投力・巧緻性） 計8（9）種目

※併せて、小・中学校ともに、生活習慣や食習慣、運動習慣等に関するアンケート調査も実施。

※高等学校は、本調査の対象ではないが、運動能力調査は実施する。

3 全国・東京都・千代田区の比較



※全国平均点を50とする（赤線部）

※男女とも、一番右側のグラフが体力合計点を示している。

【小学校：結果】

調査項目のうち、全国の平均値を上回った項目

男子：握力、反復横跳び、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げの5項目

体力合計点でも、全国・都の平均値を上回っている。

女子：長座体前屈、反復横跳び、50m走、立ち幅跳びの4項目

体力合計点でも、全国・都の平均値を上回っている。

【中学校：結果】

調査項目のうち、全国の平均値を上回った項目

男子：50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げの3項目

体力合計点では、全国・都の平均値を下回っている。

女子：50m走、立ち幅跳びの2項目

体力合計点では、全国・都の平均値を下回っている。

4 課題の整理と分析

今年度は、令和元年度と比較して全国的にも千代田区においても、体力合計点が低い結果であった（令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響のため、任意実施であり集計・分析はしていない）。理由としては、以下のことが考えられる。

- 学校においても、体育の授業以外での体力向上の取組が減少
- 運動時間や運動の機会の減少
- 学習以外のスクリーンタイム（画面を見ている時間）の増加
- 肥満傾向のある児童・生徒の増加 など

※いずれも、新型コロナウイルス感染症が影響していると考えられる。

5 今後の対応

今後も引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、予測困難な時期が続くが、幼稚園・こども園、小学校、中学校、中等教育学校において、自分の健康に関心を持ち、体力を高め、運動習慣を身に付けることができるよう、特に以下の点において、各学校・園の取組を支援・助言していく。

- オリンピック・パラリンピック教育（「学校レガシー2020」としての継続）

スポーツを「する」、「みる」、「支える」を日常化、体育の授業の質の向上、運動の日常化 など

- コーディネーショントレーニングの推進

多様な運動への意欲向上と取組の継続

体育授業の体づくり運動等に導入

全校朝会、休み時間、放課後、運動部活動等の様々な機会での取組 など

※令和4年度には「取組の継続に向けた教職員の理解・指導技術の向上」を目指す。

※令和5年度には、「教育課程への位置付けを含めた取組の充実」を目指す。

- 「千代田区基礎体力向上プラン」の改善・改訂

体力テスト等の結果を基に各校・園で改善・改訂

令和4年度中に、体育健康教育推進委員会を中心として全体的な改訂を予定 など

- 研修会の充実

コーディネーショントレーニングの実技指導研修会の開催

体力向上や健康への関心の向上に関する理論と実践 など

いじめ、不登校、白鳥教室の状況(令和4年1月末の報告)

教育委員会資料
令和4年2月22日
指導課

校種	学年	いじめ報告数			不登校者数		白鳥教室利用者数		
		今月未解消	今年度解消(転出含)	今年度累計	今月不登校者	今年度累計	今月利用者数	今月登録者数	先月末登録者数
小学校	1年		1	1	2	3			
	2年	2	2	4	4	4			
	3年	1		1	3	3	1	1	1
	4年	1		1	5	5	1	2	2
	5年		1	1	9	9	1	2	2
	6年	1	1	2	16	16	1	2	2
中・中等(前期)	1年	2		2	14	14	2	5	5
	2年	1		1	23	25	11	12	9
	3年	2	2	4	15	16	4	5	5
中等(後期)	4年				3	3	/	/	/
	5年				3	3			
	6年				2	2			
計	合計	10	7	17	99	103	21	29	26

教育委員会行事予定表

教育委員会資料
令和4年2月22日
子ども総務課

月	日	曜	時刻	行事(事業名)	場所等	出席者等
2	22	火	15:00~	教育委員会定例会 ◎	教育委員会室	教育委員出席
2	23	水				
2	24	木				
2	25	金	13:30~	研究発表会	オンライン	
2	26	土				
2	27	日				
2	28	月				
3	1	火				
3	2	水				
3	3	木				
3	4	金				
3	5	土	10:00~	九段中等教育学校 卒業式	九段中等教育学校	
3	6	日				
3	7	月				
3	8	火	15:00~	教育委員会定例会 ◎	教育委員会室	教育委員出席
3	9	水				
3	10	木				
3	11	金				
3	12	土	10:00~ 11:00~ 14:00~	保育園 卒園式 神田一橋中学校通信教育課程 卒業式 新入生ガイダンス	九段中等教育学校	
3	13	日				
3	14	月				
3	15	火		心をつなぐ体験授業	東京ジョイポリス	教育委員出席

教育委員会行事予定表

月	日	曜	時刻	行事(事業名)	場所等	出席者等
3	16	水				
3	17	木	10:00~	幼稚園・こども園 修了式		
3	18	金	10:00~	麴町中学校・神田一橋中学校 卒業式		
3	19	土				
3	20	日				
3	21	月				
3	22	火	15:00~	教育委員会定例会 ◎	教育委員会室	教育委員出席
3	23	水				
3	24	木				
3	25	金	10:00~	小学校 卒業式		
3	26	土				
3	27	日				
3	28	月				
3	29	火				
3	30	水				
3	31	木	未定	教育委員会臨時会 ◎	教育委員会室	教育委員出席

「広報千代田」
3月5日号広報原稿一覧

子ども部・地域振興部（文化振興課、生涯学習・スポーツ課）15件

課	件名	事業の概略	とき	会場	主催者
			開催日・開催期間	住所は区立施設以外のみ記入	区以外が主催のとき
1	子育て推進課	令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金の申請期限の周知	申請期限=3月31日(木)(必着)※新生児は4月15日(金)まで		
2	文化振興課	「3331絵画クラブ」受講生の絵画作品をパネル展示	3月14日(月)～18日(金)	区民ホール	
3	文化振興課	第5回文化芸術鑑賞チケット販売	3月7日(月)～28日(月)		
4	文化振興課	四番町図書館 おはなし会	毎月開催している四番町図書館のおはなし会	毎週土曜11時～	2階児童室 四番町図書館
5	文化振興課	図書フロア企画展示「千代田文人町」	明治から昭和にかけて千代田の街に暮した文豪など、千代田区にゆかりのある文人を紹介	3月22日(火)～7月15日(金)	日比谷図書文化館(日比谷公園1-4) 日比谷図書文化館
6	生涯学習・スポーツ課	講座・講習会バウチャー制度令和3年度の申請は3月16日(水)20時まで	バウチャー制度は、講習・講座補助金の申請期限を周知		九段生涯学習館
7	生涯学習・スポーツ課	卓球教室1期	15歳以上の方(中学生を除く)を対象としたレベル別の卓球教室	4月4日～5月9日の毎週月曜(4/18を除く全5回)	スポーツセンター スポーツセンター

8	生涯学習・スポーツ課	キッズダンス(幼児・小学生クラス)	4歳以上の未就学児、小学生を対象としたダンス教室	4月12日～6月7日の毎週火曜(5/3を除く全8回)	スポーツセンター	スポーツセンター
9	生涯学習・スポーツ課	はじめてのバレエエクササイズ	15歳以上の方(中学生除く)を対象としたバレエエクササイズ	4月3日～5月22日の毎週日曜(全8回)	スポーツセンター	スポーツセンター
10	生涯学習・スポーツ課	エアロビクス	15歳以上(中学生を除く)を対象としたエアロビクス	4月3日～5月22日の毎週日曜(全8回)	スポーツセンター	スポーツセンター
11	生涯学習・スポーツ課	リズムシェイプアップ&チビッコ体操	①リズムシェイプアップ=15歳以上の方(中学生を除く)②チビッコ体操=3歳以上の未就学児を対象とした体操教室	4月20日～6月29日の毎週水曜(5/4を除く全10回)	スポーツセンター	スポーツセンター
12	生涯学習・スポーツ課	次世代区相撲指導者講習会	アマチュア相撲選手、千代田区相撲連盟所属者または所属希望者を対象とした相撲指導者講習会	4月～令和5年3月の毎月第2土曜(全12回)	スポーツセンター	千代田区体育協会
13	生涯学習・スポーツ課	みんな元気で歩こう会	区内在住・在勤者を対象としたウォーキングイベント	4月3日(日)	区役所前(集合)・清水谷公園(解散)	千代田区体育協会
14	生涯学習・スポーツ課	ゲートボール講習会	区内在住・在勤者を対象としたゲートボール講習会	4月9日～5月7日の毎週土曜(全5回)	西神田公園	千代田区体育協会
15	生涯学習・スポーツ課	弓道大会	区内在住・在勤者を対象とした弓道大会	4月17日(日)13時～	スポーツセンター	千代田区体育協会